

User's Manual

ユーザーズマニュアル

IEEE802.11ac/11n/11g/11b/11a対応
無線LANブロードバンドルーター

WRC-1750GSV



この度は、エレコムの無線LANルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。

また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

- 本製品の基本的な導入手順については、付属の「かんたんセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ	2
-----	---

導入編 6

用語	7
このマニュアルで使われている用語	7
このマニュアルで使われている記号	7
このマニュアルをお読みにする前に	8
「かんたんセットアップガイド」の主な内容	8
「製品情報」の主な内容	8
本製品の概要	9
設定画面について	11

接続編 13

インターネットに接続する(ルーターモード)	14
Step1 接続の準備をする	14
Step2 本製品(ルーター)の電源を入れる	17
Step3 モバイル機器やPCと本機を接続する	18
Step4 「かんたんセットアップ3」で設定する	19
本製品に無線LANで接続する	23
WPS プッシュボタン方式で接続する	24
WPS PIN方式で接続する	26
手動設定で接続する	29
その他のモードで接続する	30
動作モードを設定する	30
子機モードに設定する	31
中継器モードに設定する	34
アクセスポイントモードに設定する	37
親機側にWPS 機能がない場合の接続方法	39

おもな使い方	42
「友だちWi-Fi™」を設定する	43
「こどもネットタイマー」を設定する	46
スケジュール詳細画面	49
WPS機能を使用する	50
本製品背面のボタンを押す	50
設定画面からWPS機能を使用する	52
アクセスコントロールを設定する	54
SSIDを第三者から見えなくする	56
動作モードを切り替える	58
ログインID / パスワードを変更する	59
初期化する	61
設定リファレンス	64
管理画面(設定ユーティリティ)を表示する	65
各メニューについて	66
友だちWi-Fi™	69
こどもネットタイマー	72
Wi-Fi	74
ルーターモード・アクセスポイントモード時	74
メインSSID	75
マルチSSID	78
WPS	81
子機モード・中継器モード時	82
WAN & LAN(ルーターモード時)	83
WAN	84
LAN	91
DDNS	92
固定DHCP設定	94
QoS	96

LAN(ルーターモード時以外)	98
セキュリティ	99
アクセスコントロール	100
ポートフォワーディング	102
DMZ	104
その他設定	105
ステータス	106
ログインID /パスワード	107
ファームウェア更新	108
設定保存と復元	109
システムログ	110
通信パケット	111
接続確認	112
こんなときは	113
インターネットにつながらない	114
無線LANがつながらない	115
端末からWPSで本製品に接続できない	116
WPS ボタンを使っても接続できない	116
PINコードで接続できない	116
無線のつながりがよくない	117
IPv6 IPoE 接続を利用する	121
かんたんセットアップ3を利用する場合	121
手動で設定する場合	125
IPv6 パススルー(ブリッジ)機能を有効にする	128
ファームウェアを更新する	131
ファームウェア設定画面を開く	132
ダウンロードしたファイル(ローカルファイル)を 指定して更新する	134
サーバー上のファイルを使って更新する	137
決められた時間に自動的に更新する	139

付録編	141
安全上のご注意	142
使用上のご注意	145
このマニュアルについて	146
無線LANをご使用になるにあたってのご注意	147
動作環境	148
各部の名称とはたらき	149
本体	149
スタンド	149
設定初期値	152
パソコンのIPアドレスの確認方法	154
Windows 10の場合	155
Windows 7の場合	156
製品の保証について	158
製品の保証とサービス	158
サポートサービスについて	159
基本仕様	160
無線LAN部	160
WAN / 有線LAN	161
ルーター、その他一般仕様	161

導入編

もくじ	2
用語	7
このマニュアルで使われている用語	7
このマニュアルで使われている記号	7
このマニュアルをお読みになる前に	8
「かんたんセットアップガイド」の主な内容	8
「製品情報」の主な内容	8
本製品の概要	9
設定画面について	11

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線 LAN ブロードバンドルーター「WRC-1750GSV」を称して「本製品」と表記しています。
11ac/11n/11g/ 11b/11a	IEEE802.11ac 規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G) 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」、IEEE802.11a 規格を「11a」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n (2.4GHz 帯) /11g/11b の略です。
11an/ac	11a/11n (5GHz 帯) /11ac の略です。
無線 LAN ルーター	無線 LAN ブロードバンドルーターを略して「無線 LAN ルーター」と表記しています。
無線親機	無線 LAN ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線 LAN 子機	無線 LAN 機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線 LAN 子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線 LAN 子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線 LAN 機能または有線 LAN アダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報」の2つのマニュアルが付属しています。

各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「かんたんセットアップガイド」の主な内容

- 本製品をインターネット機器(終端装置)に接続する手順
- Windows/Mac パソコン、スマートフォン/タブレット(AndroidまたはiOS)から、本製品およびインターネットへ接続する方法

「製品情報」の主な内容

- 本製品の各部の名称とはたらき
- 本製品の基本情報
- 工場出荷時における設定値および基本仕様
- 注意事項
- 保証規定
- サポートサービスのご案内

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

本製品の概要

● 設定ツール「かんたんセットアップ3」でスマートフォン/Windows/Macからのインターネット接続

PPPoE 接続、DHCP 接続、固定 IP 接続、「v6 プラス」^{※1}、「transix」^{※2} という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「お任せ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

※1「v6 プラス」は、日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標です。

※2「transix」は、インターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。

● ボタンひとつで接続完了、WPS 機能

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線 LAN 接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。

● 簡単にお客様用の接続アカウントを発行できる「友だち Wi-FiTM」機能搭載

設定画面から簡単な操作でお客様用の SSID と暗号化キーを発行することができます。

(→ 43 ページ)

● お子様のインターネット接続を制限できる「こどもネットタイマー 3」機能搭載

Wi-Fi ゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を 1 日単位で制限することができます。

タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お子様のインターネット利用を安心して管理することができます。

(→ 46 ページ)

● 子機モード(コンバーターモード)と中継器モード(リピーターモード)を搭載

有線 LAN ポートを持つネットワーク機器を無線化することができる「子機モード(コンバーターモード)」と、電波の届きにくい場所でも無線電波を中継して通信範囲をより広く使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」を搭載しています。

● Webブラウザベースの管理画面（設定ユーティリティ）を搭載

本製品の設定は、スマートフォンやパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの管理画面（設定ユーティリティ）を起動して行います。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。

● IPv6 パススルー（ブリッジ）機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6 パススルー（ブリッジ）」機能を搭載しています。（初期値：無効）

（→128 ページ）

● 各種無線セキュリティ機能に対応

より高度な暗号化であるWPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。

● 特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できます。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。

（→96 ページ）

● バーチャルサーバー機能を搭載

ポート転送（ポートフォワーディング機能）を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバー」としてインターネット経由で安全に公開できます。

（→102 ページ）

● 次世代通信 IPv6 (IPoE) に対応

次世代通信規格「IPv6」を利用した高速インターネット通信に対応しています。また「IPv4 over IPv6」技術により、従来よりも高速なインターネット通信をご利用いただけます。

設定画面について

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる管理画面(設定ユーティリティ)があります。

表示方法

本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のWebページを表示します。

<http://192.168.2.1/>



- 各ボタンの詳しい内容や設定方法については、「設定リファレンス」をお読みください。→64ページ
- AP(アクセスポイント)モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.1」です。

モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、本製品にお使いのパソコンだけを接続した状態で電源をONにし、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。

※APモードで利用中の本製品に別のルーターを接続すると、IPアドレスが変わる場合があります。本製品からルーターを外して電源を入れ直すと、IPアドレスは「192.168.2.1」に戻ります。

パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

- 表示されるメニューは設定しているモードによって異なります。

ルーターモード



中継器モード



アクセスポイントモード



子機モード



- 画面サイズによって表示が最適化されますので、お使いの端末によって画面の見え方が異なりますが、内容は同じです。



- ファームウェアの更新や機能の追加により、表示される画面が異なる場合があります。

接続編

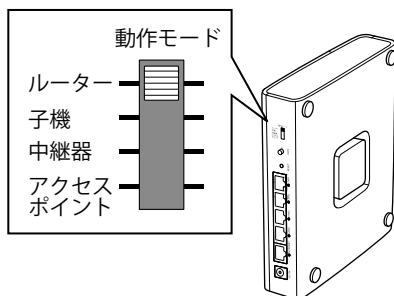
インターネットに接続する(ルーターモード)	14
Step1 接続の準備をする	14
Step2 本製品(ルーター)の電源を入れる	17
Step3 モバイル機器やPCと本機を接続する	18
Step4 「かんたんセットアップ3」で設定する	19
本製品に無線LANで接続する	23
WPS プッシュボタン方式で接続する	24
WPS PIN 方式で接続する	26
手動設定で接続する	29
その他のモードで接続する	30
動作モードを設定する	30
子機モードに設定する	31
中継器モードに設定する	34
アクセスポイントモードに設定する	37
親機側にWPS 機能がない場合の接続方法	39

インターネットに接続する(ルーターモード)

Step1 接続の準備をする

1 本体背面の動作モード切り替えスイッチが「ルーター」の位置になっていることを確認します。

- 工場出荷時は「ルーター」の位置になっています。
- モードを切り替えるときは、ACアダプターのプラグを本体から抜いてください。



その他のモードでご使用になる場合は、以下のページを参照してください。

子機モード	テレビ、レコーダーなどをLANポートに接続することで、無線機能のない機器を無線化することができます。 (→ 31 ページ)
中継器モード	すでに設置している別の無線 LAN ルーターの電波を中継して通信範囲をより広くします。 (→ 34 ページ)
アクセスポイントモード	有線ルーターが別にすでに設置されている状態で、本機で無線 LAN 接続をしたい場合。 (→ 37 ページ)

2 以下の点を確認します。

お客様の環境によってチェックする項目は異なります。

- ☒ **【事前にご確認ください】プロバイダーからの書類を用意します。**
ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザー ID とパスワードを設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダーから提供された書類※に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。

※プロバイダー書類(例)

プロバイダーにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワードなど、名称が異なります

詳しくは

インターネットで以下の文書番号を検索してください。

🔍 文書番号 7451

検索

会員証のご案内

ご契約プラン：XXXXXXXXXXXXXXXXXX

お客様番号：XXXXXXXXXXXXXXXXXX

接続ID：XXX@XXX.XXX.ne.jp

接続パスワード：XXXXXXXXXX

メールアドレス：XXX@XXX.XXX.ne.jp

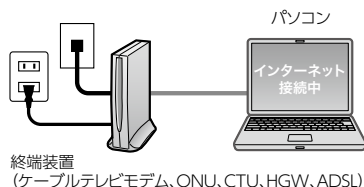
メールパスワード：XXXXXXXXXX

インターネット環境がない場合

- ☒ インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。

インターネット環境があり、ルーター未設置の場合

- ☒ 終端装置などがあり、ルーターを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。



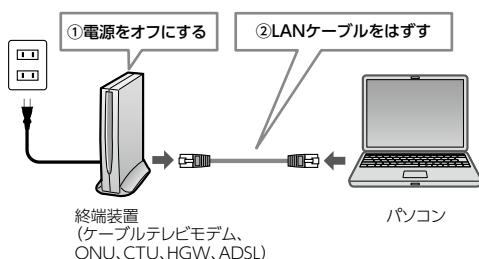
インターネット環境があり、別なルーターを設置している場合

- ☒ ご使用中のルーターの設定プログラム(アプリケーション)は、すべて削除します。
ルーターをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされている場合があります。これらはすべて削除してください。
※ご不明な点がある場合は、お手持ちのルーターのメーカーにお問い合わせください。

- ☒ 既存のルーターを終端装置やコンセントから取り外します。

3 ご利用中の回線をいったんオフにします。

- ① 終端装置(ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、HGW、ADSL)の電源を切ります。
- ② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。



ケーブルテレビモデムの場合、
そのまま10分以上おいてください。

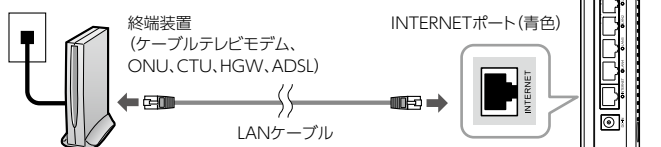
※ ご契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。

Step2 本製品(ルーター)の電源を入れる

本製品の設置方法については、別紙「設置説明書 (PDF ファイル)」をご参照ください。

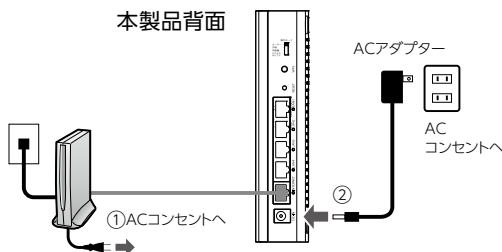
1 機器を接続します。

各機器を以下のように配線します。



2 終端装置と本製品の電源を入れます。

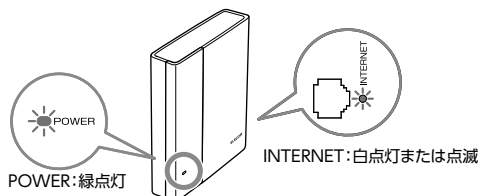
- ① 終端装置の電源ケーブルを接続します。
電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。
- ② 本製品付属のACアダプターを接続します。



3 ランプの点灯状態を確認します。

モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。

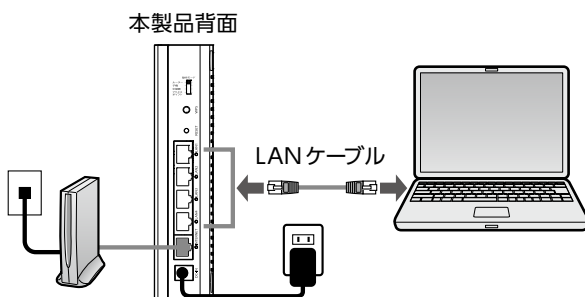
※本製品のPOWERランプは紫点滅のあと、緑点灯に変わります。



Step3 モバイル機器やPCと本機を接続する

LANケーブルで有線接続する場合

本製品のLANポート(4つのうちいずれか)と機器をLANケーブルで接続します。



無線接続する場合

Wi-Fi設定画面を開き、本機のSSIDを選択して接続するか、端末が対応している場合は、WPS機能で接続します。

WPS機能を使用しない場合は、接続に暗号化キーが必要になります。本製品付属の「かんたんセットアップシート(初期値)」をご確認ください。

- 接続方法は23ページを参照してください。
- 端末別の接続方法は、別紙「かんたんセットアップガイド」を参照してください。

かんたんセットアップシート(初期値)

かんたんセットアップシート(初期値)			
SSID (無線名)	2.4GHz	elecom2g-xxxxxx	
	5GHz	elecom5g-xxxxxx	
暗号化キー (暗号化方式)	2a3c4d5e6f7h WPA2-AES		
< ルーター管理画面アクセス情報 >			
IP アドレス	192.168.2.1	ログイン ID	admin
パスワード	※パスワードを記入の際は油性ペン等をご使用ください		
< ルーター情報 >			
MAC アドレス (WAN 側)		シリアルナンバー	
MAC : 12:34:56:AB:CD:EF		S/N : YMLJ3J3XXXXXA	

Step4 「かんたんセットアップ3」で設定する

モバイル端末やPCの場合は、Step3で無線接続が完了すると、自動的にWebブラウザが起動して「かんたんセットアップ3」の画面が表示されます。

自動で「かんたんセットアップ3」画面が表示されない場合は、以下のURLをWebブラウザのアドレス欄に入力するか、QRコードをご利用ください。

<http://192.168.2.1/wizard.html>



※ 上記の作業を行っても設定画面が表示されない場合は、STEP 3をもう一度行ってください。それでもうまくいかない場合は、本製品を初期化して、STEP 3を行ってください。初期化の方法は本製品付属の「製品情報」をご覧ください。

1 [管理アカウント設定]画面が表示されるので、ログインIDとパスワードを入力し、[適用]を選択します。

本製品の管理画面(設定ユーティリティ)にログインするためのパスワードになります。

初期設定されていませんので、ご自身でパスワードを決めて入力してください。

設定したパスワードは忘れないように「かんたんセットアップシート(初期値)」にメモして大切に保管してください。

2 [回線識別] 画面が表示されるので、[自動設定] を選択します。



自動設定できないときは、操作 **2-A** または操作 **2-B** の画面が表示される場合があります。表示された画面に従って操作を続けてください。

2-A 「プロバイダー情報の設定 (PPPoE)」 と表示される場合

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[次へ] を選択して **3** に進みます。

ここでの「ユーザー名」と「パスワード」は、ご契約のプロバイダー様から提供されているインターネット接続用の認証ID・認証パスワードを入力します。
プロバイダー様により名称が異なる場合があります。

2-B「プロバイダー情報の設定(固定IP)」と表示される場合

画面の各項目を入力し、[次へ]を選択して **3** に進みます。

ご契約のプロバイダー様から固定IPアドレスの指定があった場合のみ、プロバイダー様からの情報を各項目に入力してください。

3 [ひかりTV 設定] 画面が表示されますので、
ひかりTVをご利用の方は、2つとも「有効」に
設定し、「次へ」を選択します。

※ ウィルスクリアなどIPv6通信を利用したサービスをご利用、ご契約の場合はIPv6パススルーを有効にしてください。

※ IPv6 接続サービス(「v6プラス^{※1}」「transix^{※2}」等)と判定された場合には、IPv6 パススルーの項目は表示されません。ひかりTVモードのみ有効にしてください。

※1 「v6プラス」は、日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標です。

※2 「transix」は、インターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。

「基本セットアップ完了」と表示されたら、インターネットへの接続は完了です。



引き続き2台目以降を無線で接続したい場合

23ページ「本製品に無線LANで接続する」の手順で接続します。ゲーム機や最新OSなど接続手順の記載がない端末の設定方法は、下記で検索してください。

インターネットで以下の文書番号を検索してください。

🔍 文書番号 6447

検索

本製品に無線LANで接続する

無線LAN子機から本製品に接続する方法は、おもに以下の3通りあります。

- モバイル機器やパソコンの接続方法の詳細は、付属の別紙「かんたんセットアップガイド」をご参照ください。

WPSプッシュボタン方式

無線LAN子機がWPSプッシュボタン方式に対応している場合は、一番簡単な方法です。

(→24 ページ)

WPS PINコード方式

無線LAN子機がWPS PINコード方式に対応している場合は、この方法で接続します。

設定画面を開く必要があるため、最初の1台を接続するときは「WPSプッシュボタン方式」または「手動設定」で接続してください。

(→26 ページ)

手動接続

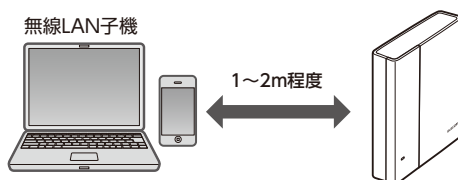
無線LAN子機がWPS機能に対応していない場合は、この方法で接続します。

(→29 ページ)

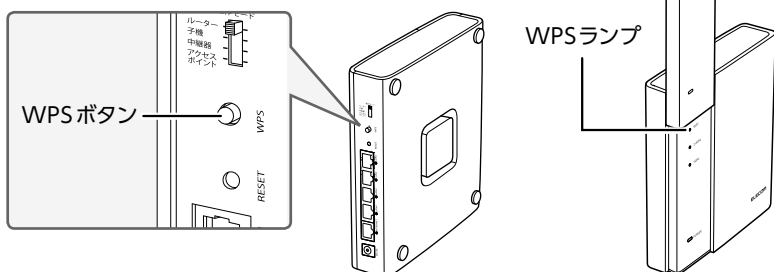
MEMO

WPS ボタンについて

WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN子機本体に装備されている「WPS ボタン」を押して設定するタイプと、管理画面（設定ユーティリティ）上にある「WPS ボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。



※ 弊社無線LANアダプターの 管理画面の画面例



- WPSランプが赤点滅し、WPS対応の無線LAN子機の接続を待つ状態になります。
- 接続は、WPSランプの点滅中に完了する必要があります。

MEMO

- WPSランプが赤色に点滅しない場合は、再度押してください。
- 接続が完了するか、一定時間（約2分間）が過ぎるとWPSランプは消灯します。

4 無線LAN子機側のWPSボタンを指定された時間だけ押します。

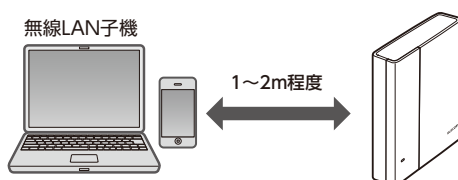
- 本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリック(タップ)します。
- ユーティリティによっては、[PBC]など、表記が異なることがありますので、無線LAN子機の説明書をお読みください。
- 本製品と子機側の接続が完了すると、WPSランプが消灯します。

5 設定後、無線LAN子機がインターネットに接続できることを確認してください。

WPS PIN方式で接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。
無線親機側のPINコードを使用する場合には、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

- 1 無線LAN子機を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**



- 2 無線LAN子機の説明書をお読みになり、無線LAN子機のPINコードをメモします。**

- 3 本製品に接続しているパソコンなどでWebブラウザを起動し、以下のページを開きます。**

<http://192.168.2.1/>



- 4 認証画面が表示されますので、以下のようにログインIDとパスワードを入力し、[OK]を選択します。**

ログイン ID	admin
パスワード	「かんたんセットアップ 3」で設定したパスワード

5 設定画面のHOME画面が表示されますので、「Wi-Fi」を選択します。



ログイン認証の画面が表示されたら「かんたんセットアップ3」で設定した「ログインID」と「パスワード」を入力してください。

6 「Wi-Fi」画面が表示されますので、「WPS」を選択します。



- 7** 「WPS」画面が表示されますので、
「無線端末のPINコード入力」に無線LAN子機のPINコードを入力し、「実行」を選択します。

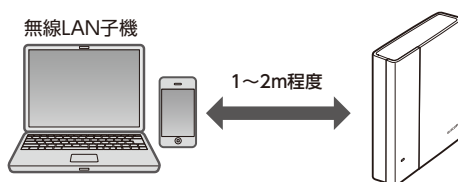


- 8** 設定後、無線LAN子機がインターネットに接続できることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS 機能を持たない無線LAN子機の場合は、無線LAN子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動で行います。

- 1 無線LAN子機を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**



- 2 無線LAN子機の管理画面(設定ユーティリティ)を起動します。**

OS 標準の無線LAN機能の場合も、SSIDの一覧を表示させます。

- 3 管理画面(設定ユーティリティ)のリスト上に表示されたSSIDの中から、本製品のSSIDを選択して、暗号化キーを入力します。**

本製品のSSIDとパスワードは、スライドパネル裏側の暗号化キーラベル、または別紙「かんたんセットアップシート」に記載されています。

かんたんセットアップシート (初期値)

SSID (無線名)	2.4GHz	elecom2g-xxxxxx
	5GHz	elecom5g-xxxxxx
暗号化キー (暗号化方式)	2a3c4d5e6f7h WPA2-AES	
< ルーター管理画面アクセス情報 >		
IP アドレス	192.168.2.1	ログインID admin
パスワード		
< ルーター情報 >		
MAC アドレス (WAN 側)	シリアルナンバー	
MAC : 12:34:56:AB:CD:EF	S/N : YMLJ3JXXXXXX	

詳しくは

インターネットで以下の文書番号を検索してください。

🔍 文書番号 6447

検索

- 4 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認します。**

その他のモードで接続する

動作モードを設定する

本製品はルーターモードの他、使用用途に応じて以下の動作モードに設定することができます。

子機モード	テレビ、レコーダーなどを LAN ポートに接続することで、無線機能のない機器を無線化することができます。 (→ 31 ページ)
中継器モード	すでに設置している別の無線 LAN ルーターの電波を中継して通信範囲をより広くします。 (→ 34 ページ)
アクセスポイントモード	有線ルーターが別にすでに設置されている状態で、本機で無線 LAN 接続をしたい場合。 (→ 37 ページ)

※ こどもネットタイマー 3 などの機能はルーターモードのみでご利用いただけます。

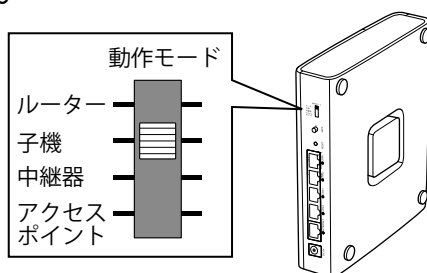
重要

動作モードを変更するときは、必ず AC プラグを本体から抜いて電源を切った状態で行ってください。

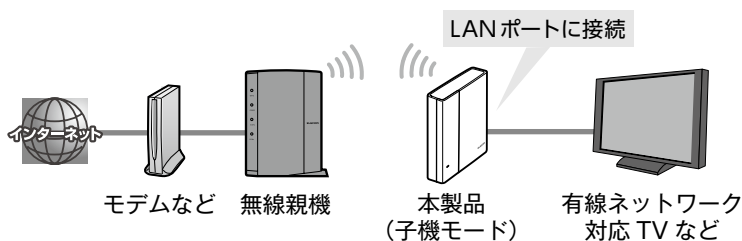
子機モードに設定する

テレビ、レコーダーなどを本製品のLANポートに接続することで、無線機能のない機器を無線化することができます。

- 1 ACアダプターのプラグを本体から抜いて電源を切ります。**
- 2 本製品背面の動作モード切り替えスイッチを「子機」に合わせます。**



- 3 本製品のLANポートとネットワーク機器をLANケーブルで接続します。**



MEMO

- 本製品のLANポートは4ポートあります。いずれのポートに接続してもかまいません。
- 4台までの有線ネットワーク機器を接続することができます。ただし、同時に使用すると、通信速度が低下することがあります。

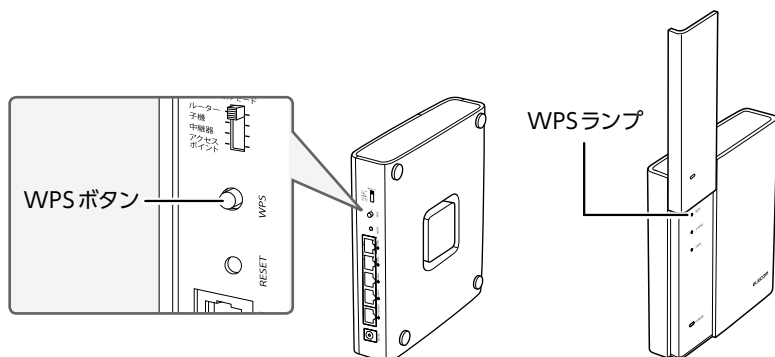
- 4 ACアダプターのプラグを本体に差し直します。**
LEDランプが以下の状態になるまで、1～2分待ちます。

2.4GHz/5GHz ランプ	消灯
POWER ランプ	白点灯

- 5 本製品背面にあるWPS ボタンを2～3秒間長押しします。**

WPSランプが赤点滅します。

- 親機側にWPS ボタンがない場合は、39ページ「親機側にWPS 機能がない場合の接続方法」の方法で接続します。



- 6 本製品のWPS ボタンを押してから2分以内に、親機側でもWPS ボタンを押し、WPSの動作状態にします。**

親機側と本製品の接続が完了すると、LEDの状態が以下の状態になります。

WPS ランプ	消灯
2.4GHz/5GHz ランプ	親機と接続できている帯域のどちらかのLEDランプが点滅
POWER ランプ	白点灯

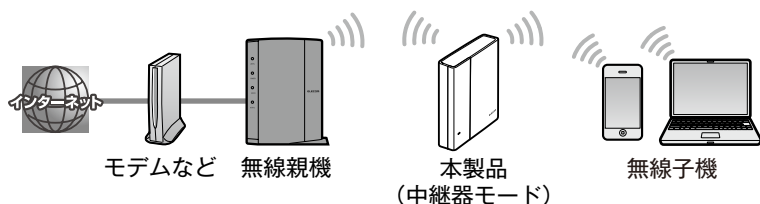
7 本製品と接続しているネットワーク機器がネットワークに接続されていることを確認します。

以下の場合、39 ページの「親機側に WPS 機能がない場合の接続方法」で接続してください。

- 上記の設定手順で設定できない場合
- 2.4GHz または 5GHz どちらかの帯域を指定して接続したい場合
- 親機に WPS ボタンがない場合

中継器モードに設定する

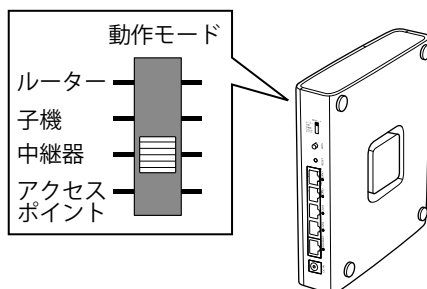
すでに設置している別の無線LANルーターの電波を中継して通信範囲をより広くします。



MEMO

- 2.4GHzと5GHzの同時使用はできなくなります。接続先の無線親機と本製品との間で使用している周波数帯のみでアクセスできます。
- ルーターモードから中継器モードに変更する場合は、INTERNETポートからLANケーブルを外した後、設定を始めてください。

- 1 ACアダプターのプラグを本体から抜いて電源を切ります。**
- 2 本製品背面の動作モード切り替えスイッチを「中継器」に合わせます。**



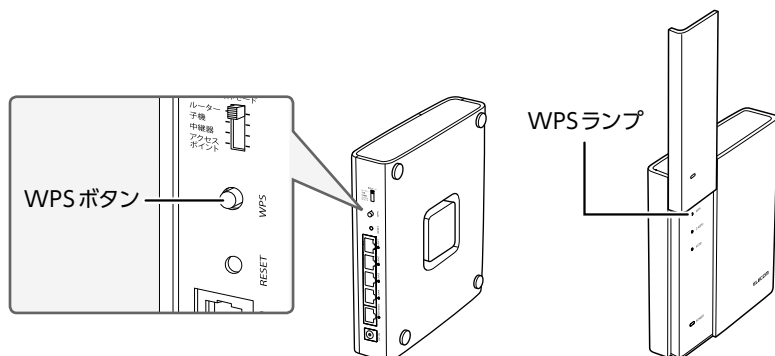
- 3 ACアダプターのプラグを本体に差し直します。**
LEDランプが以下の状態になるまで、1～2分待ちます。

2.4GHz/5GHz ランプ	消灯
POWER ランプ	黄点灯

- 4 本製品背面にあるWPS ボタンを2～3秒間長押しします。**

WPSランプが赤点滅します。

- 親機側にWPS ボタンがない場合は、39ページ「親機側にWPS 機能がない場合の接続方法」の方法で接続します。



- 5 本製品のWPS ボタンを押してから2分以内に、親機側でもWPS ボタンを押し、WPSの動作状態にします。**

親機側と本製品の接続が完了すると、LEDの状態が以下の状態になります。

WPS ランプ	消灯
2.4GHz/5GHz ランプ	親機と接続できている帯域のどちらかのLED ランプが点滅
POWER ランプ	黄点灯

6 無線電波を中継したいポイントに本製品を設置し、無線子機から本製品に無線接続してネットワークに接続できることを確認します。

中継器モードで親機と接続が完了すると、本製品のSSID名は親機と同じSSID名になります。無線子機からは、親機のSSID名に接続してください。

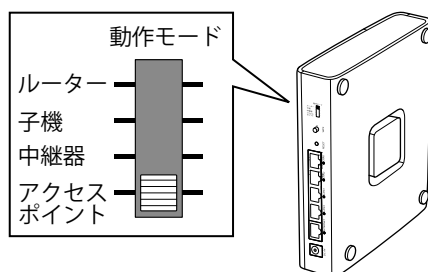
以下の場合、39ページの「親機側にWPS機能がない場合の接続方法」で接続してください。

- 上記の設定手順で設定できない場合
- 2.4GHzまたは5GHzどちらかの帯域を指定して接続したい場合
- 親機にWPSボタンがない場合

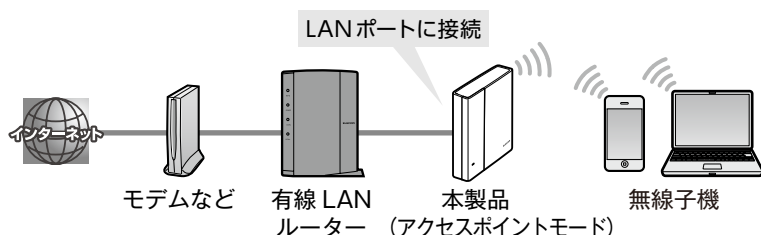
アクセスポイントモードに設定する

ネットワーク内に有線ルーターが別に動作している場合などに、本製品を使って無線LAN接続をすることができます。

- 1 ACアダプターのプラグを本体から抜いて電源を切ります。**
- 2 本製品背面の動作モード切り替えスイッチを「アクセスポイント」に合わせます。**



- 3 本製品のLANポートと有線LANルーターをLANケーブルで接続します。**



- 4 ACアダプターのプラグを本体に差し直します。**
LEDランプが以下の状態になるまで、1～2分待ちます。

2.4GHz/5GHz ランプ	白点灯
POWER ランプ	青点灯

5 無線子機から本製品に無線接続し、ネットワークに接続できることを確認します。

本製品のSSIDとパスワードは、スライドパネル裏側の暗号化キーラベル、または別紙「かんたんセットアップシート」に記載されています。

親機側にWPS機能がない場合の接続方法

中継器・子機モードを利用時に以下の場合は、下記の方法で親機に接続してください。

- 親機側にWPSボタンがない場合
- WPS機能でうまく接続できない場合
- 2.4GHzまたは5GHzどちらかの帯域を指定して接続したい場合

1 本製品のLANポートとお手持ちのパソコンをLANケーブルで接続します。

2 パソコンのIPアドレスを192.168.2.100に設定します。
パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

3 パソコンのブラウザを開き、192.168.2.1にアクセスします。

ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

設定画面のHOME画面が表示されます。



4 「Wi-Fi」を選択します。

5 「Wi-Fi」画面が表示されるので、**「検索」**を選択します。

ELECOM

WRC-1750GSV

マニュアル

子機モード

Wi-Fi

H2ME > Wi-Fi

SSIDの選択 :

検索

チャンネル :

帯域 :

5GHz

暗号化 :

なし

暗号化キー :

戻る

適用

6 「接続機器の選択」画面が表示されるので、接続する機器の「選択」欄にチェックを入れ、「適用」を選択します。

ELECOM WRC-1750GSV

子機モード

Wi-Fi

HOME > Wi-Fi > 接続機器の選択

接続する相手先を選択してください。

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号	モード
☐	48	eleeceleeceleeceleeceleece celec	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	eleeceleeceleeceleeceleece celec	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c
☐	48	elecom5g-gsigstbg	b4:18:d1:f1:4f: df	AE S	WPA 2	8 4	11a/n/a c

戻る

更新

適用

- 7** 「Wi-Fi」画面が表示されるので、「暗号化キー」を入力し、「適用」を選択します。



「帯域」、「暗号化」は、SSIDを選択すると、自動的に入力されますので、必要に応じて変更してください。

- 8** 設定が反映されるまで、しばらく待ちます。
- 9** 無線子機から本製品に無線接続し、ネットワークに接続できることを確認します。

● 中継器モードで接続した場合

中継器モードで親機と接続が完了すると、本製品のSSID名は親機と同じSSID名になります。無線子機からは、親機のSSID名に接続してください。

● 子機モードで接続した場合

子機モードで親機と接続した場合は、本製品のLANポートに接続したネットワーク機器からインターネットに接続できるか確認してください。

おもな使い方

「友だち Wi-Fi™」を設定する	43
「こどもネットタイマー」を設定する	46
スケジュール詳細画面	49
WPS 機能を使用する	50
本製品背面のボタンを押す	50
設定画面から WPS 機能を使用する	52
アクセスコントロールを設定する	54
SSID を第三者から見えなくする	56
動作モードを切り替える	58
ログイン ID / パスワードを変更する	59
初期化する	61

「友だち Wi-Fi™」を設定する

対象モード： ルーターモード

来客用の Wi-Fi アカウントを作成します。
メインのネットワークとは分けて設定することができるので、安全にインターネットに接続することができます。

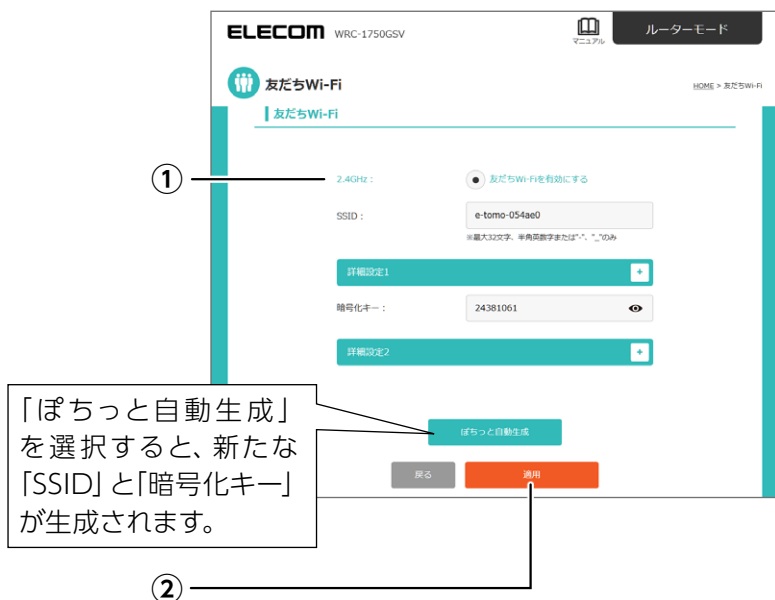
1 HOME 画面から「友だち Wi-Fi」を選択します。



「友だち Wi-Fi」設定画面が表示されます。



2 以下の項目を設定します。



- ① 「友だちWi-Fiを有効にする」にチェックを入れます。
「SSID」と「暗号化キー」は自動的に設定されますが、変更したい場合は、入力し直してください。
- ② 「適用」を選択します。
- ③ 設定が反映されるまでしばらく待ちます。

MEMO

- 「友だちWi-Fi™」は2.4GHz帯でのみ接続できます。
- 「友だちWi-Fi™」設定画面の詳細については、69ページを参照してください。

3 接続したい機器のWi-Fi設定画面を開き、2で設定したSSIDと暗号化キーで接続します。

設定したSSIDと暗号化キーはHOME画面に表示されます。

「友だちWi-Fi」機能のオン/オフを切り替えることができます。

「友だちWi-Fi」機能の接続情報が表示されます。



「こどもネットタイマー」を設定する

対象モード： **ルーターモード**

本機に接続している端末に対して、インターネットに接続できる時間や曜日を個別に設定することができます。
お子様のWi-Fiゲーム機の利用時間を制限したい場合などに便利です。

1 HOME画面から「こどもネットタイマー」を選択します。

タイマー設定やスケジュール設定のオン/オフを切り替えることができます。

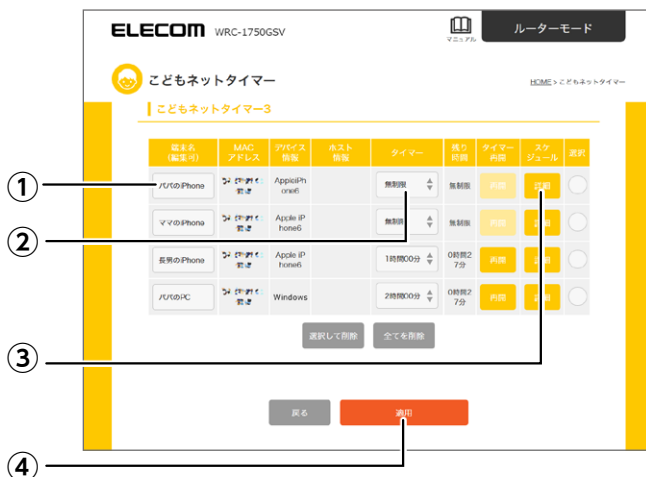


「こどもネットタイマー」設定画面が表示されます。

本製品に接続されている端末の一覧が表示されます。



2 各項目を設定します。



① 端末名を設定します。

わかりやすい名前をつけることができます。
漢字やひらがな、カタカナも使用できます。
※全角文字は7文字まで設定できます。

② 「タイマー」をプルダウンメニューから選択します。

インターネットに接続できる時間を設定します。
30分～23時間30分まで30分刻みで設定できます。
日付が変わるとタイマーはリセットされます。

③ 「スケジュール」を設定します。

「詳細」を選択すると、スケジュール詳細画面が表示されますので、インターネットに接続できる時間帯を設定します。
(→49ページ)

④ 設定が完了したら、「適用」を選択します。

●その他の項目について

項目	内容
タイマー再開	残り時間をリセットし、設定している時間からタイマーを再開します。
選択	選択後、「選択して削除」または「全てを削除」ボタンで削除することができます。 端末を削除すると、本製品との接続が切れます。

MEMO

端末のMACアドレスを調べるには

●iPhone/iPadの場合

1. ホーム画面の[設定]アイコンをタップします。
 2. 「一般」－「情報」をタップします。
- ⇒「Wi-Fi アドレス」に表記されています。

●Androidの場合

1. ホーム画面の[アプリ]アイコンをタップします。
 2. [設定]アイコンをタップします。
 3. 「タブレット端末」－「端末の状態」をタップします。
- ⇒「Wi-Fi MACアドレス」に表記されています。
- ※機種やAndroidバージョンにより操作が異なる場合があります。

●ニンテンドー 3DS LLの場合

1. 3DSメニューの[本体設定]アイコンをタッチします。
 2. [インターネット設定]をタッチします。
 3. [その他の情報]をタッチします。
 4. [MACアドレスの確認]をタッチします。
- ⇒「Wi-Fi MACアドレス」に表記されています。

■ スケジュール詳細画面

枠内をクリック（タップ）やドラッグすることで、インターネットの使用時間帯を設定します。

使用可能時間帯は黄色で表示されます。

設定が終わったら「OK」を選択します。

各枠内をクリック
(タップ)やドラッグ
することで使用可能
時間を設定します。

システム時間: 水 30曜日 3月 2016 01:13:29GMT+0900

時刻	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00	■	■	■	■	■	■	■
09:00	■	■	■	■	■	■	■
10:00	■	■	■	■	■	■	■
11:00	■	■	■	■	■	■	■
12:00	■	■	■	■	■	■	■
13:00	■	■	■	■	■	■	■
14:00	■	■	■	■	■	■	■
15:00	■	■	■	■	■	■	■
16:00	■	■	■	■	■	■	■
17:00	■	■	■	■	■	■	■
18:00	■	■	■	■	■	■	■
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

キャンセル リセット OK

MEMO

- 「こどもネットタイマー」設定画面の詳細については、72ページを参照してください。

WPS 機能を使用する

対象モード： **ルーターモード** **アクセスポイントモード**

※ 子機モードをご利用の場合は31ページ、中継器モードをご利用の場合は34ページをご覧ください。

WPS ボタンを使用すると、暗号化キーを入力することなく、簡単に本製品と端末を接続することができます。

使用するときには、端末側がWPS ボタンに対応していることをご確認ください。

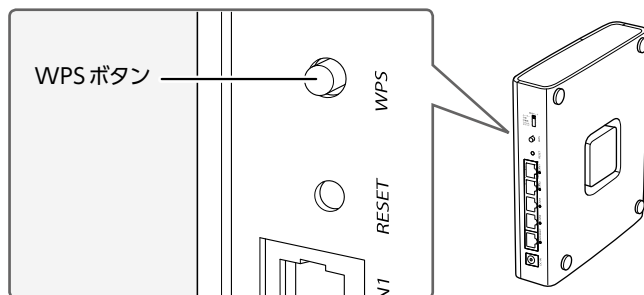
本製品背面のボタンを押す方法と、設定画面から実行する方法の2種類あります。

PINコードを入力して接続するときには、設定画面から実行してください。

本製品背面のボタンを押す

- 1 本製品背面にあるWPS ボタンを2～3秒間長押しします。**

WPSランプが赤点滅します。



2 WPS ボタンを押してから2分以内に、接続する端末側でもWPS ボタンを押し、WPS の動作状態にします。

親機側と本製品の接続が完了すると、LED の状態が以下の状態になります。

WPS ランプ	消灯
2.4GHz/5GHz ランプ	親機と接続できている帯域のどちらかの LED ランプが点滅
POWER ランプ	ルーターモード：緑点灯 アクセスポイントモード：青点灯

設定画面からWPS 機能を使用する

1 HOME 画面から「Wi-Fi」を選択します。



2 「Wi-Fi」画面が表示されるので、「WPS」を選択します。



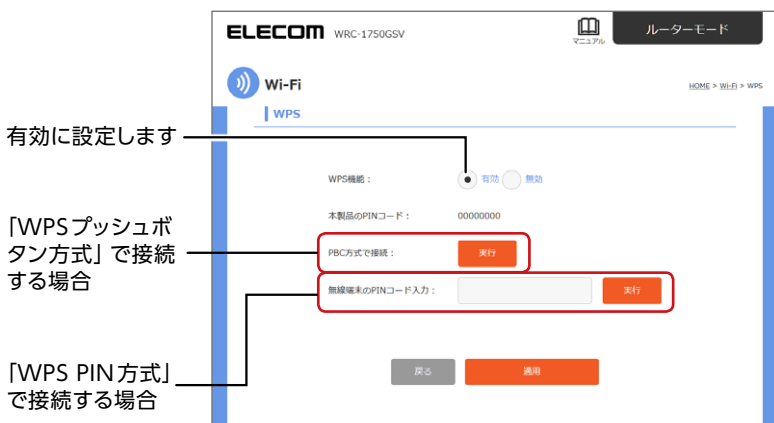
- 3** 「WPS」画面が表示されるので、
「WPS 機能」の「有効」にチェックを入れ、以下のいずれかの方法でWPS機能をオンにします。

「WPS プッシュボタン方式」で接続する場合

「PBC方式で接続」の「実行」を選択します。

「WPS PIN方式」で接続する場合

「無線端末のPINコード入力」欄に本機に接続する端末のPINコードを入力し、「実行」を選択します。



アクセスコントロールを設定する

対象モード： **ルーターモード**

特定の機器からのアクセスを禁止します。

最大 20 件まで設定できます。

この設定は、ルーターモード時のみ設定できます。

1 HOME 画面から「セキュリティ」を選択します。



2 「セキュリティ」画面が表示されるので、「アクセスコントロール」を選択します。



3 「アクセスコントロール」画面が表示されるので、以下の項目を設定します。

ELECOM WRC-1750GSV ルーターモード

セキュリティ HOME > セキュリティ > アクセスコントロール

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を禁止する機能を設定します。登録できる端末数は、最大20です。
有線/無線 両方の機器が対象になります。

① アクセスコントロール: ☐ 有効 ☒ 無効

② MACアドレス: (記入例: 0080e0123ab)

③ コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

④

■ アクセスコントロール

MACアドレス	コメント	選択
192.168.2.100	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	☐
192.168.2.100	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	☐
192.168.2.100	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	☐

- ① 「アクセスコントロール」を「有効」に設定します。
- ② 禁止したい機器の「MACアドレス」を指定します。
- ③ 任意で「コメント」を入力します。
- ④ 「追加」を選択します。
アクセス禁止に設定した機器の一覧が下部に表示されます。

SSID を第三者から見えなくする

対象モード： ルーターモード アクセスポイントモード

本機のSSIDを無線LAN子機側から見えなくします。
第三者からの不正アクセス防止に役立ちます。

1 HOME 画面から「Wi-Fi」を選択します。



2 「Wi-Fi」画面が表示されるので、「メインSSID」または「マルチSSID」を選択します。

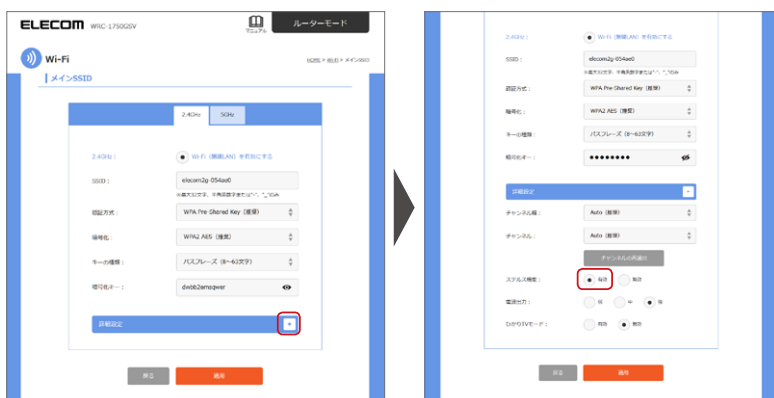


項目	内容
メイン SSID	メインで使用する SSID を設定します。
マルチ SSID	メイン SSID 以外の SSID を設定します。

- 3** 「SSID」設定画面が表示されますので、「ステルス機能」の「有効」にチェックを入れ、「適用」を選択します。

メインSSIDの場合

「メインSSID」の場合、「詳細設定」の+を選択して、展開してから「有効」にチェックを入れます。



マルチSSIDの場合



動作モードを切り替える

本製品は使用用途に応じて以下の動作モードに設定することができます。

切り替え方法については、各ページを参照してください。

ルーターモード (初期値)	本製品をモデムや終端装置と接続して、インターネットに接続します。ご契約のプロバイダーから特に指定がある場合を除き、本モードでご利用ください。
子機モード	テレビ、レコーダーなどを LAN ポートに接続することで、無線機能のない機器を無線化することができます。 (→ 31 ページ)
中継器モード	すでに設置している別の無線 LAN ルーターの電波を中継して通信範囲をより広くします。 (→ 34 ページ)
アクセスポイント モード	有線ルーターが別にすでに設置されている状態で、本機で無線 LAN 接続をしたい場合に設定します。 (→ 37 ページ)

重要

動作モードを変更するときは、必ず AC プラグを本体から抜いて電源を切った状態で行ってください。

ログインID / パスワードを変更する

対象モード： ルーターモード 子機モード 中継器モード

アクセスポイントモード

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にアクセスするためのログインIDとパスワードを変更することができます。

1 HOME 画面から「その他設定」を選択します。



2 「その他設定」画面が表示されますので、「ログインID/パスワード」を選択します。



3 「ログインID/パスワード」設定画面が表示されますので、 新ログインIDと新パスワードを入力し、「適用」 を選択します。

- ※ 項目はすべて半角英数字（「A～Z」、「a～z」、「0～9」）と「-」（半角ハイフン）、
「_」（半角アンダースコア）で入力してください。
- ※ ログインID/パスワードの入力文字数は30文字以内です。
- ※ より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをおすすめします。

ELECOM WRC-1750GSV

マニュアル ルーターモード

その他設定

ログインID/パスワード

本製品の管理画面にアクセスするためのログインID/パスワードを変更できます。

※全ての項目は、半角英数字（A～Z、a～z、0～9）と「-」（半角ハイフン）、
「_」（半角アンダースコア）で設定してください。
※ログインID/パスワードの入力文字数は30文字以内です。
※より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

新ログインID: admin

新パスワード:

新パスワードの再入力:

パスワード強度

弱 中 強

戻る 適用

項目	内容
パスワード強度	入力したパスワードの堅ろう性を表示しています。 なるべく「強」になるように英字と数字を組み合わせた 7文字以上のパスワードにすることをおすすめします。

4 「設定の反映」画面が表示されますので、しばらく待ちます。

5 認証画面が表示されたら、 新しく設定したログインIDとパスワードを入力 して再ログインします。

初期化する

対象モード： ルーターモード 子機モード 中継器モード
アクセスポイントモード

設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

重要

初期化した場合は、お客様にて設定された内容は消去されます。初期化後は再設定を行ってください。

また、事前に本製品の管理画面（設定ユーティリティ）「その他設定」－「設定保存と復元」から現在の設定内容を保存できます。

初期化後は同じ画面から設定を復元することが出来ます。(→109ページ)

1 HOME 画面から「その他設定」を選択します。



2 「その他設定」画面が表示されますので、「設定保存と復元」を選択します。



- 3 「設定保存と復元」画面が表示されますので、「初期化」を選択します。**

確認ダイアログボックスが表示されたら、「OK」を選択してください。



- 4 「設定の反映」画面が表示されますので、しばらく待ちます。**

設定が反映されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。

「このページを表示できません」※などの画面が表示されたら、初期化完了です。

※ お使いのブラウザにより表示は異なります。

5 「かんたんセットアップ3」画面にアクセスし、再度設定を行います。

設定方法は17ページ「Step2 本製品（ルーター）の電源を入れる」を参照してください。

設定リファレンス

管理画面(設定ユーティリティ)を表示する	65
各メニューについて	66
友だちWi-Fi™	69
こどもネットタイマー	72
Wi-Fi	74
ルーターモード・アクセスポイントモード時	74
メインSSID	75
マルチSSID	78
WPS	81
子機モード・中継器モード時	82
WAN & LAN(ルーターモード時)	83
WAN	84
LAN	91
DDNS	92
固定DHCP設定	94
QoS	96
LAN(ルーターモード時以外)	98
セキュリティー	99
アクセスコントロール	100
ポートフォワーディング*	102
DMZ	104
その他設定	105
ステータス	106
ログインID / パスワード	107
ファームウェア更新	108
設定保存と復元	109
システムログ	110
通信パケット	111
接続確認	112

管理画面(設定ユーティリティ)を表示する

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる管理画面(設定ユーティリティ)があります。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

<http://192.168.2.1/>



認証画面が表示された場合は、以下のようにユーザー名とパスワードを入力し、[OK]を選択します。

ユーザー名	admin	パスワード	[かんたんセットアップ3] で設定したパスワード
-------	-------	-------	--------------------------

● AP(アクセスポイント)モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.1」です。

モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、本製品にお使いのパソコンだけを接続した状態で電源をONにし、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。

※ APモードで利用中の本製品に別のルーターを接続すると、IPアドレスが変わる場合があります。本製品からルーターを外して電源を入れ直すと、IPアドレスは「192.168.2.1」に戻ります。

パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

HOME 画面が表示されます。



各メニューについて

表示されるメニューは設定しているモードによって異なります。

メニュー項目	内容	モードごとの表示の違い			
		ルーター	アクセス ポイント	中継器	子機
 友だちWi-Fi 安全な環境でお客様に Wi-Fiを接続できます	来客用の Wi-Fi アカウントを 作成します。 → 69 ページ	●	—	—	—
 こどもネットタイマー お子様のインターネットの 接続時間を管理します	端末ごとにインターネットに 接続できる時間や曜日を設 定することができます。 → 72 ページ	●	—	—	—
 Wi-Fi Wi-Fi (無線LAN) に関する 各種設定ができます	Wi-Fi (無線 LAN) に関する 各種設定ができます。 → 74 ページ	●	●	●	●
 WAN & LAN 回線設定や無線LANの 各種設定ができます	インターネット (WAN) 回 線や LAN 全般の設定ができ ます。 → 83 ページ (WAN & LAN) → 98 ページ (LAN)	●	● (LANのみ)	● (LANのみ)	● (LANのみ)
 セキュリティ	WEB フィルターやアクセス コントロールなどセキュリ ティーに関する設定ができま す。 → 99 ページ	●	—	—	—
 その他設定	ステータスを確認したり、ロ グイン ID やパスワードの変 更、ファームウェアの更新な どをおこないます。 → 105 ページ	●	●	●	●
 かんたんセットアップ3	インターネットに接続するた めのセットアップをします。 → 付属「かんたんセットアップ ガイド」をご参照ください。	●	—	●	●

MEMO

スマートフォンなどのホーム画面に設定画面のショートカットを作っておくと、必要なときにすばやく開くことができます※。

※ 本製品をルーターモードで利用しており、本製品と機器を接続している場合に設定画面を開くことができます。

● iPhone (Safari) の場合

- ① 設定画面を開いた状態で、画面下部の中央のアイコンをタップします。
- ② 「ホーム画面に追加」をタップします。



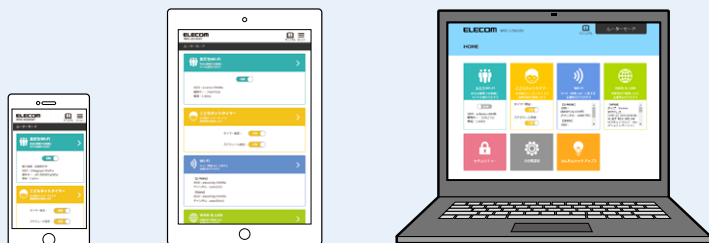
● Android (Chrome) の場合

- ① 設定画面を開いた状態で、画面右上のメニューボタンをタップします。
- ② 「ホーム画面に追加」をタップします。



MEMO 設定画面について

- 画面サイズによって表示が最適化されますので、お使いの端末によって画面の見え方が異なりますが、内容は同じです。



- ファームウェアの更新や機能の追加により、表示される画面が異なる場合があります。

友だち Wi-Fi™

来客用の Wi-Fi アカウントを作成します。
メインのネットワークとは分けて設定することができるので、安全にインターネットに接続することができます。

The screenshot shows the '友だちWi-Fi' (Guest Wi-Fi) configuration interface on an ELECOM WRC-1750GSV router. The interface is in Japanese and includes the following elements:

- Header:** ELECOM WRC-1750GSV, Manuals (マニュアル), and Router Mode (ルーターモード).
- Breadcrumb:** HOME > 友だちWi-Fi.
- Section:** 友だちWi-Fi.
- 2.4GHz:** A radio button labeled '友だちWi-Fiを有効にする' (Enable Guest Wi-Fi) is selected.
- SSID:** A text field containing 'e-tomo-054ae0'. A note below states: ※最大32文字、半角英数字または"-","_", "."のみ (Maximum 32 characters, alphanumeric or hyphen, underscore, or period).
- Buttons:** '詳細設定1' (Detailed Settings 1) and '詳細設定2' (Detailed Settings 2) are shown as teal buttons with dropdown arrows.
- Password:** A text field for the password containing '24381061', with an eye icon to toggle visibility.
- Generate Button:** A teal button labeled 'ぼちっと自動生成' (Generate Automatically).
- Footer:** '戻る' (Back) and '適用' (Apply) buttons.

項目	内容
友だち Wi-Fi™ を有効にする	チェックを入れると、「友だち Wi-Fi™」機能が有効になります。 「友だち Wi-Fi™」機能は 2.4GHz でのみ使用できます。
SSID	Wi-Fi を接続するときに機器上に表示される名前を設定します。
暗号化キー	「詳細設定 1」の「キーの種類」で選択した入力形式で暗号キーを入力します。
ぼちっと自動生成	友だち Wi-Fi™ を「有効」にした状態でこのボタンを押すと、 友だち Wi-Fi™ の「SSID」と「暗号化キー」がランダムに変更されます。

● 詳細設定 1

項目	内容	
認証方式	WPA Pre-Shared Key (推奨) (初期値)	通常はこちらを選択します。
	WEP	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。
	なし	通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。

認証方式に「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

項目	内容	
暗号化	ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。	
	WPA2 AES (推奨)	WPA2-PSK のうち暗号化形式に「AES」を使用します。
	WPA TKIP	WPA-PSK のうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。
	WPA Mixed	無線子機に WPA-PSK(「AES」または「TKIP」)と WPA2-PSK が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。 また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。
キーの種類	暗号化キーの入力形式を選択します。	
	パスフレーズ (8 ～ 63 文字)	半角英数字 (8 ～ 63 文字) が使用できます。
	HEX (64)	16 進数 64 文字(固定)を使用できます。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。

認証方式に「WEP」を選択した場合

項目	内容				
キー長	キー長を選択します。 通常は 128bit を選択してください。				
キーフォーマット	暗号化キーの入力形式を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>ASCII</td><td>半角英数字で指定文字数を入力します。</td></tr> <tr> <td>Hex</td><td>16 進数で指定文字数を入力します。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。</td></tr> </table>	ASCII	半角英数字で指定文字数を入力します。	Hex	16 進数で指定文字数を入力します。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。
ASCII	半角英数字で指定文字数を入力します。				
Hex	16 進数で指定文字数を入力します。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。				
暗号化キー 1	「キーフォーマット」で指定した形式で暗号キーを入力します。				

● 詳細設定 2

項目	内容
リダイレクト URL	「有効」に設定すると、本製品に「友だち Wi-Fi™」で接続した端末に対して、指定した Web ページを表示させることができます。(初期設定：無効)
リダイレクト先 URL	「友だち Wi-Fi™」で接続した端末に表示させたい Web ページの URL を入力します。
認証タイムアウト	本製品に「友だち Wi-Fi™」で接続できる時間を設定します。 空欄の場合は、無制限となります。

MEMO

「認証タイムアウト」で設定した時間が経過すると、リダイレクト機能が動作します。

リダイレクト機能は、接続端末がブラウザで「http」で始まるサイトを閲覧した場合にのみ動作します。

こどもネットタイマー

端末ごとにインターネットに接続できる時間や曜日を設定することができます。



項目	内容
端末名	本製品に接続している端末の名前を設定できます。
タイマー	インターネットに接続できる時間を設定します。 30 分～23 時間 30 分まで 30 分刻みで設定できます。
タイマー再開	残り時間をリセットし、設定している時間からタイマーを再開します。
スケジュール	スケジュール詳細画面を表示し、使用可能な時間帯を設定します。 →73 ページ
選択	選択後、「選択して削除」または「全てを削除」 ボタンで端末を削除することができます。 端末を削除すると、本製品との接続が切れます。

● スケジュール詳細画面

枠内をクリック(タップ)やドラッグすることで、インターネットの使用時間帯を設定できます。

使用可能時間帯は黄色で表示されます。

設定が終わったら「OK」を選択します。

各枠内をクリック
(タップ)やドラッグ
することで使用可能
時間を設定します。

ELECOM WRC-1750GSV

ルーターモード

こどもネットタイマー

設定画面 > こどもネットタイマー

こどもネットタイマー-3

システム時間: 水 30 曜日 3月 2016 01:13:28GMT+09:00

▼ 詳細

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
00:00						
01:00						
02:00						
03:00						
04:00						
05:00						
06:00						
07:00						
08:00						
09:00						
10:00						
11:00						
12:00						
13:00						
14:00						
15:00						
16:00						
17:00						
18:00						
19:00						
20:00						
21:00						
22:00						
23:00						
24:00						

キャンセル

リセット

OK

Wi-Fi

Wi-Fi(無線LAN)に関する各種設定ができます。
ご使用中のモードによって設定できる項目が異なります。

ルーターモード・アクセスポイントモード時



項目	内容	ページ数
メイン SSID	メインで使用する SSID の Wi-Fi を設定します。	75 ページ
マルチ SSID	メイン SSID とは別の SSID を設定することができます。 SSID ごとにセキュリティ方式を分けたいときなどに使用します。	78 ページ
WPS	WPS 機能の有効／無効を切り替えや、WPS 接続をすることができます。	81 ページ

■ メインSSID

タブを切り替えることで設定する帯域を切り替えることができます。



入力された文字がそのまま表示されます。



入力された文字が●で表示されます。

項目	内容						
Wi-Fi (無線 LAN) を有効にする	設定している帯域のメイン SSID を有効にするか無効にするか設定します。						
SSID	SSID 名を設定します。						
認証方式	認証方式を設定します。						
	<table><tr><td>WPA Pre-Shared Key (推奨)</td><td>通常はこちらを選択します。</td></tr><tr><td>WEP</td><td>WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。</td></tr><tr><td>なし</td><td>通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。</td></tr></table>	WPA Pre-Shared Key (推奨)	通常はこちらを選択します。	WEP	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。	なし	通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。
	WPA Pre-Shared Key (推奨)	通常はこちらを選択します。					
	WEP	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。					
なし	通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。						

認証方式に「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

項目	内容	
暗号化	ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。	
	WPA2 AES (推奨)	WPA2-PSK のうち暗号化形式に「AES」を使用します。
	WPA TKIP	WPA-PSK のうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。
	WPA Mixed	無線子機に WPA-PSK(「AES」または「TKIP」)と WPA2-PSK が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。 また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。
キーの種類	暗号化キーの入力形式を選択します。	
	パスフレーズ (8 ～ 63 文字)	半角英数字 (8 ～ 63 文字) が使用できます。
	HEX (64)	16 進数 64 文字(固定) を使用できます。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。
暗号化キー	「キーの種類」の形式で暗号キーを入力します。	

認証方式に「WEP」を選択した場合

項目	内容	
キー長	キー長を選択します。 通常は 128bit を選択してください。	
キーフォーマット	暗号化キーの入力形式を選択します。	
	ASCII	半角英数字で指定文字数を入力します。
	Hex	16 進数で指定文字数を入力します。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を 組み合わせた文字列です。
暗号化キー 1	「キーフォーマット」で指定した形式で暗号キーを入力します。	

詳細設定

暗号化キー: wrdmmygens

詳細設定

チャンネル幅: Auto (推奨)

チャンネル: Auto (推奨)

チャンネルの再選出

ステルス機能: ☐ 有効 ☒ 無効

電波出力: ☐ 弱 ☐ 中 ☒ 強

ひかりTVモード: ☐ 有効 ☒ 無効

戻る 適用

項目	内容				
チャンネル幅	2.4GHz の帯域の場合は 11n 規格、5GHz の帯域の場合は 11ac 規格でのチャンネル幅を設定します。 ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらないことがあります。 <table border="1"> <tr> <td>2.4GHz の場合 (初期値: Auto)</td><td>Auto (推奨) / 20MHz / 40MHz</td></tr> <tr> <td>5GHz の場合 (初期値: Auto)</td><td>Auto (推奨) / 20MHz / 40MHz / 80MHz</td></tr> </table>	2.4GHz の場合 (初期値: Auto)	Auto (推奨) / 20MHz / 40MHz	5GHz の場合 (初期値: Auto)	Auto (推奨) / 20MHz / 40MHz / 80MHz
2.4GHz の場合 (初期値: Auto)	Auto (推奨) / 20MHz / 40MHz				
5GHz の場合 (初期値: Auto)	Auto (推奨) / 20MHz / 40MHz / 80MHz				
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1 ~ 13ch の中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。 (例) 1ch/6ch/11ch				
ステルス機能	有効にすると、無線 LAN 子機側の管理画面 (設定ユーティリティ) などで、本製品の SSID が表示されなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。 (初期設定: 無効)				
電波出力	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。 (弱/中/強)				
ひかり TV モード	ひかり TV をご利用になる場合は「有効」に設定してください。 (初期設定: 無効)				

■ マルチSSID

タブを切り替えることで設定する帯域を切り替えることができます。

The screenshot shows the router's web interface in 'ルーターモード' (Router Mode). The breadcrumb trail is 'HOME > Wi-Fi > マルチSSID'. The 'Wi-Fi' section is active, and the 'マルチSSID' (Multi-SSID) sub-section is selected. Under the '2.4GHz' tab, the 'Wi-Fi (無線LAN) を有効にする' (Enable Wi-Fi (Wireless LAN)) radio button is selected. Below this, there are input fields for 'SSID' (with a note: ※最大32文字、半角英数字または"・","_","のみ"), '認証方式' (Authentication Method) set to 'WPA Pre-Shared Key (推奨)', '暗号化' (Encryption) set to 'WPA2 AES (推奨)', 'キーの種類' (Key Type) set to 'パスフレーズ (8~63文字)', and a '暗号化キー' (Encryption Key) field with an eye icon. At the bottom, the 'ステルス機能' (Stealth Function) is set to '無効' (Disabled). '戻る' (Back) and '適用' (Apply) buttons are at the bottom.

項目	内容						
Wi-Fi (無線 LAN) を有効にする	設定している帯域のマルチ SSID を有効にするか無効にするか設定します。						
SSID	SSID 名を設定します。						
認証方式	認証方式を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>WPA Pre-Shared Key (推奨) (初期値)</td><td>通常はこちらを選択します。</td></tr> <tr> <td>WEP</td><td>WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。</td></tr> <tr> <td>なし</td><td>通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。</td></tr> </table>	WPA Pre-Shared Key (推奨) (初期値)	通常はこちらを選択します。	WEP	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。	なし	通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。
WPA Pre-Shared Key (推奨) (初期値)	通常はこちらを選択します。						
WEP	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。						
なし	通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。						

認証方式に「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

項目	内容	
暗号化	ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。	
	WPA2 AES (推奨)	WPA2-PSK のうち暗号化形式に「AES」を使用します。
	WPA TKIP	WPA-PSK のうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。
	WPA Mixed	無線子機に WPA-PSK(「AES」または「TKIP」)と WPA2-PSK が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。 また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。
キーの種類	暗号化キーの入力形式を選択します。	
	パスフレーズ (8 ～ 63 文字)	半角英数字 (8 ～ 63 文字) が使用できます。
	HEX (64)	16 進数 64 文字(固定) を使用できます。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。
暗号化キー	「キーの種類」の形式で暗号キーを入力します。	

認証方式に「WEP」を選択した場合

項目	内容	
キー長	キー長を選択します。 通常は 128bit を選択してください。	
キーフォーマット	暗号化キーの入力形式を選択します。	
	ASCII	半角英数字で指定文字数を入力します。
	Hex	16 進数で指定文字数を入力します。 ※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を 組み合わせた文字列です。
暗号化キー 1	「キーフォーマット」で指定した形式で暗号キーを入力します。	

項目	内容
ステルス機能	有効にすると、無線 LAN 子機側の管理画面（設定ユーティリティ）などで、本製品の SSID が表示されなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。 （初期設定：無効）

■ WPS

ELECOM WRC-1750GSV マニュアル ルーターモード

Wi-Fi HOME > Wi-Fi > WPS

WPS機能: ☒ 有効 ☐ 無効

本製品のPINコード: 00000000

PBC方式で接続: 実行

無線端末のPINコード入力: 実行

戻る 適用

項目	内容
WPS 機能	WPS 機能の有効／無効を設定します。(初期値：有効)
本製品の PIN コード	本製品の PIN コードが表示されます。
PBC 方式で接続	「実行」をクリックすると、WPS 機能が実行されます。 本製品の本体に装備された「WPS ボタン」と押したときと同じ動作をします。
無線端末の PIN コードで入力	本製品側で無線 LAN 子機の PIN コードに合わせる場合に、無線 LAN 子機側の PIN コードを入力し、「実行」をクリックします。

子機モード・中継器モード時

The screenshot shows the ELECOM WRC-1750GSV Wi-Fi configuration page in '子機モード' (Sub-device Mode). The page title is 'Wi-Fi' and the subtitle is '暗号化キーの入力' (Input of encryption key). The form includes the following fields and buttons:

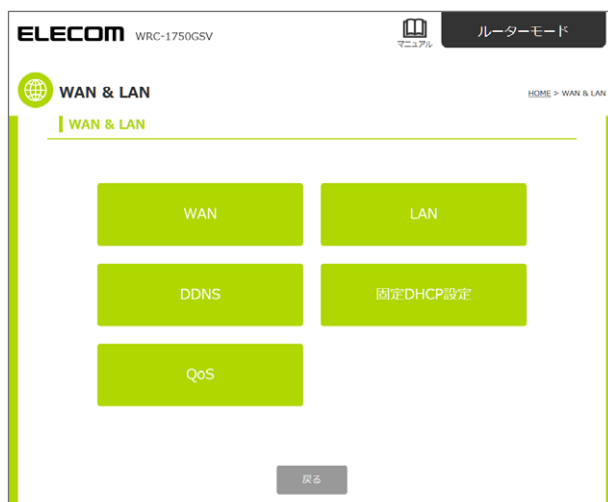
- SSIDの選択:** A dropdown menu showing 'elecom2g-470g-wi-fi' and a '検索' (Search) button.
- チャンネル:** A dropdown menu showing '9'.
- 帯域:** A dropdown menu showing '2.4GHz'.
- 暗号化:** A dropdown menu showing 'なし' (None).
- 暗号化キー:** A text input field with a password strength indicator and a '確認' (Confirm) button.
- Buttons:** '戻る' (Back) and '適用' (Apply) buttons at the bottom.

項目	内容
SSID の選択	「検索」ボタンを選択すると、一覧から機器を選択することができます。機器を選択し、「適用」をクリックすると、パスワード以外の無線親機の無線情報が反映されます。接続する無線親機の無線情報が分かっている場合は、直接無線情報を入力して設定することもできます。
チャンネル	使用しているチャンネル数が表示されます。
帯域	SSID を選択または入力し、「適用」を選択すると、自動的に入力されます。
暗号化	
暗号化キー	無線親機のパスワードを入力します。

モードの切り替え方法は、30 ページをご参照ください。

WAN & LAN (ルーターモード時)

WAN (インターネット) 回線や LAN の設定ができます。
この項目はルーターモード時のみ設定可能です。



項目	内容	ページ数
WAN	インターネット側の設定をおこないます。	84 ページ
LAN	LAN (ローカルネット) 側の設定をおこないます。	91 ページ
DDNS	ダイナミック DNS に関する設定をおこないます。	92 ページ
固定 DHCP 設定	機器に固定 IP アドレスを割り振ります。	94 ページ
QoS	QoS の設定をおこないます。	96 ページ

■ WAN

WAN (インターネット) 側の設定をおこないます。
「WAN アクセスタイプ」で DHCP/PPPoE/v6 プラス^{※1}/transix^{※2}/固定 IP のいずれを選択するかで設定画面が異なります。

※1 「v6 プラス」は日本ネットワークイネブラー株式会社の登録商標です。

※2 「transix」はインターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。

「DHCP」を選択した場合

ELECOM WRC-1750GSV マニュアル ルーターモード

WAN & LAN HOME > WAN & LAN > WAN

WAN

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: DHCP

ホスト名: WRC-1750GS (最大30文字、半角英数字)

MTUサイズ: 1500 (1400-1500 バイト)

☒ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバーを使用する

DNS 1: 記入例: 192.168.5.44

DNS 2: 記入例: 192.168.5.44

MACアドレスコピー: 手動追加 コピー (接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☐ UPnPを有効にする
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする
☐ IPv6 / ビスルーを有効にする
☒ HW NATを有効にする

戻る 適用

項目	内容
ホスト名	ルーターのホスト名を設定することができます。(半角英数字で最大 30 文字) (初期値: 本製品の型番が表示されます)

項目	内容
MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位: バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1500 バイト)
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する	プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次の DNS サーバーを使用する	プロバイダーから DNS サーバーを使用するように指示があった場合に選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 個の場合は「DNS1」と「DNS2」にアドレスを入力します。
DNS1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
DNS2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	WAN (インターネット) 側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証をおこなうような CATV インターネット接続サービスで使います。 初期値では、接続中のパソコンの MAC アドレスが表示されています。 「手動追加」を選択すると、手動で MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らないで入力します。 (例: 0090fe0123ab) 「コピー」をクリックすると、接続中のパソコンの MAC アドレスが入力されます。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。 (初期値: 無効)
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。 (初期値: 無効)
IPv6 パススルーを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 パススルー (ブリッジ)」機能の有効/無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。 (初期値: 無効)

項目	内容
HW NAT を有効にする	ハードウェアで通信処理をおこないます。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。 (初期値：有効)

「固定 IP」を選択した場合

ELECOM WRC-1750GSV

マニュアル ルーターモード

WAN & LAN HOME > WAN & LAN > WAN

WAN

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: 固定IP

固定IP: 0.0.0.0

サブネットマスク: 0.0.0.0

デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

MTUサイズ: 1500 (1400-1500 バイト)

DNS 1: 記入例: 192.168.5.44

DNS 2: 記入例: 192.168.5.44

MACアドレスコピー: 手動追加 コピー (接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☐ UPnPを有効にする
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする
☐ IPv6 パススルーを有効にする
☒ HW NATを有効にする

戻る 適用

項目	内容
固定 IP	プロバイダーから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
ウエイ	

項目	内容
MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1500 バイト)
DNS1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
DNS2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。
MAC アドレス コピー	WAN (インターネット) 側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証をおこなうような CATV インターネット接続サービスで使 用します。 初期値では、接続中のパソコンの MAC アドレスが表示されています。 「手動追加」を選択すると、手動で MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らないで入力します。 (例: 0090fe0123ab) 「コピー」をクリックすると、接続中のパソコンの MAC アドレスが入力されます。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。 (初期値: 無効)
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。 (初期値: 無効)
IPv6 パススルーを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 パススルー (ブリッジ)」機能の有効/無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。 (初期値: 無効)
HW NAT を有効にする	ハードウェアで通信処理をおこないます。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。 (初期値: 有効)

「PPPoE」を選択した場合

The screenshot shows the 'WAN & LAN' configuration page for the ELECOM WRC-1750GSV router. The page is titled 'WAN & LAN' with a sub-tab 'WAN'. It includes a breadcrumb trail: HOME > WAN & LAN > WAN. The main heading is 'WAN', and the instruction says '本製品のWAN設定を行います。' (Perform the WAN settings of this product). The configuration options are as follows:

- WANアクセスタイプ:** A dropdown menu set to 'PPPoE'.
- ユーザー名:** A text input field with a note '(最大 57 文字)' (Maximum 57 characters).
- パスワード設定:** A text input field with a note '(最大 57 文字)' (Maximum 57 characters). Below it is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password).
- MTUサイズ:** A text input field set to '1454' with a note '(1360-1454 バイト)' (1360-1454 bytes).
- Options:** Four radio buttons for enabling features:
 - ☐ UPnPを有効にする (Enable UPnP)
 - ☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする (Enable response to ping from WAN side)
 - ☐ IPv6 パススルーを有効にする (Enable IPv6 passthrough)
 - ☒ HW NATを有効にする (Enable HW NAT)

At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '適用' (Apply).

項目	内容
ユーザー名	プロバイダーから提供されたユーザー名を入力します。 (最大 57 文字) ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」 とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123@elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダー識別子
パスワード設定	プロバイダーから提供されたパスワードを入力します。 (最大 57 文字) 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力したパスワード を表示できます。無効の場合は、「●●●●●●●●」で表示 されます。(初期値: 無効)
MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位: バイト) を設定 します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454 バイト)

項目	内容
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。 (初期値：無効)
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。 (初期値：無効)
IPv6 パススルーを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 パススルー (ブリッジ)」機能の有効／無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。 (初期値：無効)
HW NAT を有効にする	ハードウェアで通信処理をおこないます。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。 (初期値：有効)

v6プラス※を選択した場合

※ 「v6プラス」は日本ネットワークイネプラー株式会社の登録商標です。

The screenshot shows the router's configuration interface. At the top, it says 'ELECOM WRC-1750GSV' and 'ルーターモード'. The main heading is 'WAN & LAN' with a sub-heading 'WAN'. Below this, it says '本製品のWAN設定を行います。' (Perform WAN settings for this product). The 'WANアクセスタイプ' (WAN Access Type) is set to 'v6プラス'. The 'HW NAT を有効にする' (Enable HW NAT) option is selected with a radio button. At the bottom, there are '戻る' (Back) and '適用' (Apply) buttons.

項目	内容
HW NAT を有効にする	ハードウェアで通信処理をおこないます。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。 (初期値：有効)

transix※を選択した場合

※ 「transix」はインターネットマルチフィールド株式会社の登録商標です。

The screenshot shows the router's configuration interface. At the top, it says 'ELECOM WRC-1750GSV' and 'ルーターモード'. The main heading is 'WAN & LAN' with a sub-heading 'WAN'. Below this, it says '本製品のWAN設定を行います。' (Perform WAN settings for this product). The 'WANアクセスタイプ' (WAN Access Type) is set to 'transix'. The 'HW NAT を有効にする' (Enable HW NAT) option is selected with a radio button. At the bottom, there are '戻る' (Back) and '適用' (Apply) buttons.

項目	内容
HW NAT を有効にする	ハードウェアで通信処理をおこないます。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。 (初期値：有効)

■ LAN

LAN (ローカルネット) 側の設定をおこないます。

ELECOM WRC-1750GSV

マニュアル ルーターモード

HOME > WAN & LAN > LAN

WAN & LAN

LAN

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス: 192.168.2.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCP範囲: 192.168.2.100 ~ 192.168.2.200

接続端末の表示

DHCPリース時間: 48 (1~168時間)

戻る 適用

項目	内容
IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP 範囲	DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。「接続端末の表示」をクリックすると、DHCP で接続中の端末の一覧が表示されます。
DHCP リース時間	DHCP サーバーによりクライアントに割り当てられる IP アドレスのリース時間を設定します。1 分～ 10080 分までの範囲で設定できます。初期値は 480 分です。指定時間を過ぎると DHCP サーバーより IP アドレスを再取得します。

■ DDNS

DDNS (ダイナミックDNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。

この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNSはサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

● あらかじめ DDNS サービスに登録してください。

DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

● DDNS サービスを利用するにあたって

他社 DDNS サービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。

- ・ SkyLink DDNS とは、対象のエレコムまたはロジテック製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。SkyLink DDNS への登録については、下記 URL で詳細をご確認のうえ、ご利用ください。

<http://www.clear-net.jp/>

- ・ DDNS サービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合があります。更新時期などの詳細はご利用になる DDNS サイトをご覧ください。
- ・ DDNS サービスを使用する場合、本製品の WAN 側の IP アドレスにプロバイダーからのグローバル IP が割り当てられている状態でご利用ください。

ELECOM WRC-1750GSV マニュアル **ルーターモード**

WAN & LAN HOME > WAN & LAN > DDNS

DDNS

DDNS : ☐ 有効 ☒ 無効

サービスプロバイダ : SkyLink DDNS ▼

ユーザ名ID :

パスワード :

戻る 適用

項目	内容
DDNS	ダイナミック DNS 機能の有効／無効を設定します。 (初期値：無効)
サービスプロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ユーザ名 ID	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

■ 固定 DHCP 設定

特定の端末に固定 IP アドレスを割り振ります。
通常、クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられますが、クライアントのネットワーク機器などの問題で、特定の IP アドレスを割り当てたい場合などに使用します。
クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連づけて登録することができます。
最大 20 件まで設定できます。

ELECOM WRC-1750GSV マニュアル ルーターモード

インターネット & LAN HOMES > インターネット & LAN > 固定DHCP設定

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。
登録できる端末は、最大 20 です。

☐ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fa0123ab)

コメント: (最大20文字)

追加

固定DHCPリスト

IPアドレス	MACアドレス	帯域幅	選択
192.168.2.100	b4:18:d1:f1:4f:d7	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	☐
192.168.2.100	b4:18:d1:f1:4f:d7	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	☐
192.168.2.100	b4:18:d1:f1:4f:d7	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	☐

選択して削除 **全てを削除**

戻る **適用**

固定 DHCP リスト
DHCP を設定した機器
の一覧を表示します。

項目	内容
固定 DHCP の有効	この項目をチェックすると、「固定 DHCP リスト」にある内容が有効になります。 チェックしていない場合は、リストに登録されていても IP アドレスは固定されません。

項目	内容
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。 (例：192.168.2.100) ※ DHCP 範囲以外の IP アドレスでも設定可能です。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「：」で区切らずに入力しても設定可能です。 (例：0090fe0123ab)
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。 (最大 20 文字)

■ QoS

QoSは、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するとき有効です。

ELECOM
WRC-1750GSV
メニュー
ルーターモード

インターネット & LAN
HOME > インターネット & LAN > QoS

QoS

QoSの設定を行います（上級者向け）。
特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します。

ダウンロード/アップロード帯域設定

QoS:
☐ 有効
☒ 無効

ダウンロード帯域幅:
Mbps [1~30Mbps]

アップロード帯域幅:
Mbps [1~30Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向:

上限 / 下限:

帯域幅:
Mbps [1~30Mbps]

ローカルIPアドレス:

追加

QoS設定リスト

通信方向	上限 / 下限	帯域幅	ローカルIPアドレス	選択
192.168.2.100	b4:18:d1:f1:4f:df	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	192.168.2.100	☐
192.168.2.100	b4:18:d1:f1:4f:df	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	192.168.2.100	☐
192.168.2.100	b4:18:d1:f1:4f:df	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	192.168.2.100	☐

選択して削除

全てを削除

戻る

適用

● ダウンロード/アップロード帯域設定

項目	内容
QoS	QoS 設定の有効／無効を選択します。（初期値：無効）

96

項目	内容
ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 (1 / 2 / 4 / 8 / 12 / 20 / 30Mbps) (初期値: 30Mbps)
アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 (1 / 2 / 4 / 8 / 12 / 20 / 30Mbps) (初期値: 30Mbps)

● 特定通信に関する設定

項目	内容
通信方向	通信方向を選択します。 (ダウンロード/アップロード/両方) (初期値: ダウンロード)
上限/下限	最大帯域(上限) か、最低帯域保証(下限) かの設定をします。 (初期値: 下限)
帯域幅	通信で確保する帯域幅を選択します。 (1 / 2 / 4 / 8 / 12 / 20 / 30Mbps) (初期値: 1Mbps)
ローカル IP アドレス	この帯域を適用する端末の IP アドレスを入力します。

● QoS 設定リスト

QoS を設定した通信の一覧を表示します。

項目	内容
選択して削除	「選択」 にチェックを入れた通信をリストから消去します。
全てを削除	リストの通信設定をすべて消去します。

LAN(ルーターモード時以外)

本製品のLAN (ローカルネットワーク) 側のIPアドレス情報などを設定します。この項目は中継器・子機・アクセスポイントモード時のみ設定可能です。

ELECOM WRC-1750GSV

アクセスポイントモード

LAN

LAN

本製品のLAN設定を行います。

アドレスタイプ: DHCP

IPアドレス: 192.168.2.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

DNS1:

DNS2:

戻る 適用

項目	内容
アドレスタイプ	「DHCP」または「固定IP」を選択します。 「DHCP」を選択した場合は、以下の項目は自動的に取得しますので、入力できなくなります。
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダから提供されたデフォルトゲートウェイの値を入力します。
DNS1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリ（2番目）のDNSアドレスを入力します。

セキュリティ

WEB フィルターやアクセスコントロールなどセキュリティに関する設定ができます。

セキュリティ設定は、ルーターモード時のみ設定できます。



項目	内容	ページ数
アクセスコントロール	登録した MAC アドレスを持つ無線 LAN 子機、または有線クライアントとの通信を拒否できます。第三者の無線 LAN 子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。	100 ページ
ポートフォワーディング	LAN 上にある指定されたパソコンを WAN (インターネット) 側からアクセスできるようにすることができます。	102 ページ
DMZ	指定した端末に WAN (インターネット) 側からアクセスできるようになります。	104 ページ

■ アクセスコントロール

登録した MAC アドレスを持つ無線 LAN 子機、または有線クライアントとの通信を拒否できます。第三者の無線 LAN 子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。最大 20 件まで設定できます。

ELECOM WRC-1750GSV マニュアル **ルーターモード**

セキュリティ HQMC > セキュリティ > アクセスコントロール

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を禁止する端末を設定します。登録できる端末数は、最大20です。
有線/無線 両方の機器が対象になります。

アクセスコントロール： ☐ 有効 ☒ 無効

MACアドレス： (記入例：0090fe0123ab)

コメント： (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

アクセスコントロール

MACアドレス	コメント	選択
192.168.2.100	XXXXXXXXXXXXXXXX	☐
192.168.2.100	XXXXXXXXXXXXXXXX	☐
192.168.2.100	XXXXXXXXXXXXXXXX	☐

選択して削除 **全てを削除**

戻る **適用**

項目	内容
アクセスコントロール	アクセスコントロール機能の有効／無効を設定します。 (初期値：無効)
MAC アドレス	本製品への接続を拒否する機器の MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らずに入力します。 (例：0090fe0123ab)

項目	内容
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。 (半角英数字で最大 20 文字)

● アクセスコントロール

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。

登録できるクライアント数は最大 20 です。

項目	内容
選択して削除	[選択] をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

■ポートフォワーディング

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。
通常、NAT変換を利用するルーターでは、WAN(インターネット)側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたパソコンをWAN側に開放することができます。

ELECOM
WRC-1750GSV
マニュアル
ルーターモード

セキュリティ

HCS版>セキュリティ>ポートフォワーディング

ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大20です。

ポートフォワーディング:
☐ 有効
☐ 無効

ローカルIPアドレス:

タイプ:

両方

ポート:

コメント:
(最大20文字、半角英数字のみ)

追加

■ ポートフォワーディング設定リスト

ローカルIPアドレス	コメント	タイプ	ポート	選択
XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	192.168.2.100	☐
XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	192.168.2.100	☐
XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	192.168.2.100	☐

選択して削除

全てを削除

戻る

適用

重要

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、94ページの「固定DHCP設定」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。

DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないパソコンがWAN側に開放される恐れがあります。

102

項目	内容
ポートフォワーディング	ポートフォワーディング機能の有効/無効を設定します。 (初期値：無効)
ローカル IP アドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値：両方)
ポート	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力し ます。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアント を区別するのに便利です。

● ポートフォワーディング設定リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択] は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大 20 です。

■ DMZ

通常、NAT 変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側から LAN 上のパソコンにアクセスすることはできません。

DMZ 機能を使用すると、指定した端末に WAN 側からアクセスできるようになります。

これにより、LAN 上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

重要

設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。

項目	内容
DMZ	DMZ 機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)
DMZ IP アドレス	インターネット（外部）に公開する WAN 側 IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

その他設定

ステータスを確認したり、ログインIDやパスワードの変更、ファームウェアの更新などをおこないます。



項目	内容	ページ数
ステータス	本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。	106 ページ
ログイン ID/ パスワード	本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にログインするための、ログイン ID とパスワードを設定 / 変更します。	107 ページ
ファームウェア更新	本製品の機能を最新の状態にします。	108 ページ
設定保存と復元	本製品の設定情報をファイルとして保存したり、本製品の状態を設定情報を保存した時点に復元することができます。	109 ページ
システムログ	さまざまなログ情報をファイルとしてダウンロードできます。	110 ページ
通信パケット	各インターフェイスの送受信パケットを表示します。	111 ページ
接続確認	ネットワーク上の他機器との接続状態を確認します。	112 ページ

■ステータス

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

タブをクリックすることで表示を切り替えることができます。

ELECOM WRC-1750GSV マニュアル ルーターモード

HOME > その他設定 > ステータス

その他設定

ステータス

本製品のシステム情報を表示します。

システム設定

稼働時間: 0 Day, 0:13:48
 ファームウェアバージョン: 2.00
 動作モード: ルーターモード
 現在時刻: 2017/11/24 16:17:51

WAN & LAN設定

WAN LAN

IPアドレス: 192.168.0.186
 サブネットマスク: 255.255.255.0
 デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1
 MACアドレス: bc:5c:4c:05:4a:e1

無線設定

2.4GHz **5GHz**

SSID: elecom2g-054ae0
 チャンネル: 9
 暗号化: WPA2 AES
 BSSID: bc:5c:4c:05:4a:e2
 接続済み台数: 1

マルチSSID

2.4GHz 5GHz

SSID:
 チャンネル: 0
 暗号化: WPA2 AES
 BSSID: 00:00:00:00:00:00
 接続済み台数: 0

友だちWi-Fi

2.4GHz

SSID: e-tomo-054ae0
 チャンネル: 9
 暗号化: WPA2 AES
 BSSID: bc:5c:4c:13:4a:e2
 接続済み台数: 0

■ ログインID / パスワード

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にログインするための、ユーザー名とパスワードを設定 / 変更します。

ELECOM WRC-1750GSV

マニュアル ルーターモード

その他設定

ログインID/パスワード

本製品の管理画面にアクセスするためのログインID/パスワードを変更できます。

※全ての項目は、半角英数字（A～Z, a～z, 0～9）で設定してください。
 ※ログインID/パスワードの入力文字数は30文字以内です。
 ※より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

新ログインID:

新パスワード:

新パスワードの再入力:

パスワード強度: 弱 中 強

戻る 適用

 入力された文字がそのまま表示されます。

 入力された文字が●で表示されます。

項目	内容
新ログイン ID	新しく設定するログイン ID を入力します。
新パスワード	新しく設定するパスワードを入力します。
新パスワードの再入力	確認のため、もう一度新しいパスワードを設定します。

重要

- 変更後のログインIDとパスワードを忘れないでください
 変更後のログインIDとパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。その場合、すべての設定が初期化されますので、ログインID、パスワードは忘れないようにしてください。

■ ファームウェア更新

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。

The screenshot shows the 'ELECOM WRC-1750GSV' router's web interface. The top navigation bar includes 'HOME', 'その他設定' (Other Settings), and 'ファームウェア更新' (Firmware Update). The main heading is 'ファームウェア更新' (Firmware Update). Below this, it states '本製品のファームウェアを更新できます。' (You can update the product's firmware). A box shows '現在のファームウェアバージョン' (Current firmware version) as '2.00'. To the right is a red button '更新ファイルの確認' (Check update file) with a note: '※現在のファームウェアが最新バージョンか確認します' (Check if the current firmware is the latest version). Below this is the 'ファームウェアの更新方法' (Firmware update method) section. It has a '更新方法' (Update method) box with three radio buttons: 'ローカルファイル指定' (Specify local file), 'オンラインバージョンアップ (手動)' (Online version update (manual)), and 'オンラインバージョンアップ (自動)' (Online version update (automatic)). The 'automatic' option is selected. Below the radio buttons, it says '● オンラインバージョンアップ (自動)' (● Online version update (automatic)). At the bottom, there's a '更新時刻' (Update time) section with a dropdown set to '自動設定' (Automatic setting) and a time '水曜日 03:18'. There are '戻る' (Back) and '適用' (Apply) buttons at the bottom.

項目	内容						
更新ファイルの確認	現在のファームウェアが最新バージョンか確認します。最新の場合は、「現在のファームウェアは、最新版です。」と表示されます。 最新ではない場合は、画面の案内に従ってアップデートをすることができます。						
更新方法	<table border="1"> <tr> <td>ローカルファイル指定</td><td>ダウンロードしたファームウェアファイルを指定してアップデートをおこないます。</td></tr> <tr> <td>オンラインバージョンアップ(手動)</td><td>「更新実行」ボタンを選択すると、アップデートがおこなわれます。</td></tr> <tr> <td>オンラインバージョンアップ(自動)(初期値)</td><td> 指定した時間に現在のファームウェアが最新かどうかチェックをし、最新でない場合は、自動的にアップデートをおこないます。 ・曜日は自動的に割り振られますので、設定することはできません(再起動時にランダムな曜日が表示されます)。 ・時間は正時のみ設定できます。 </td></tr> </table>	ローカルファイル指定	ダウンロードしたファームウェアファイルを指定してアップデートをおこないます。	オンラインバージョンアップ(手動)	「更新実行」ボタンを選択すると、アップデートがおこなわれます。	オンラインバージョンアップ(自動)(初期値)	指定した時間に現在のファームウェアが最新かどうかチェックをし、最新でない場合は、自動的にアップデートをおこないます。 ・曜日は自動的に割り振られますので、設定することはできません(再起動時にランダムな曜日が表示されます)。 ・時間は正時のみ設定できます。
ローカルファイル指定	ダウンロードしたファームウェアファイルを指定してアップデートをおこないます。						
オンラインバージョンアップ(手動)	「更新実行」ボタンを選択すると、アップデートがおこなわれます。						
オンラインバージョンアップ(自動)(初期値)	指定した時間に現在のファームウェアが最新かどうかチェックをし、最新でない場合は、自動的にアップデートをおこないます。 ・曜日は自動的に割り振られますので、設定することはできません(再起動時にランダムな曜日が表示されます)。 ・時間は正時のみ設定できます。						

ファームウェアの更新は131ページを参照しておこなってください。

■ 設定保存と復元

本製品の設定情報をファイルとして保存したり、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。

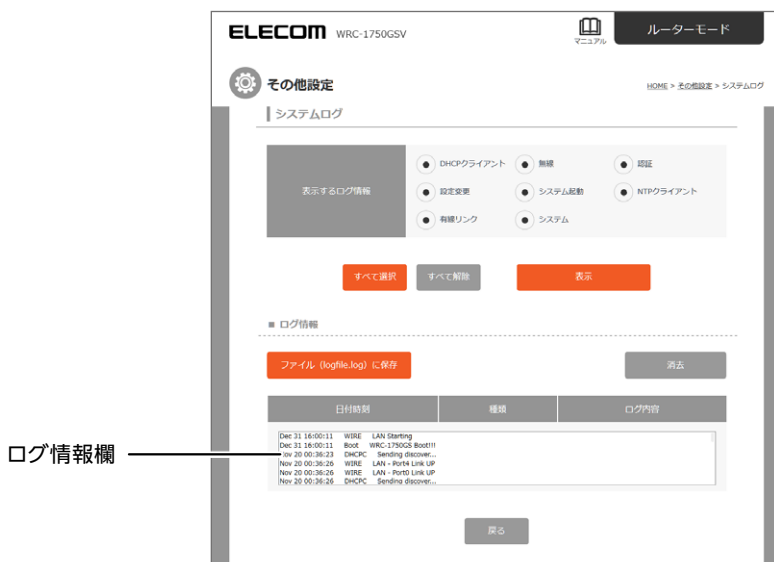
また、本製品の設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。



項目	内容
設定を保存	「保存」をクリックすると、「〔機種名〕 config.bin」というファイル名で保存されます。
設定を復元	「設定を保存」で保存したファイルを選択し、「復元」を選択すると、保存した設定が復元されます。 ● 設定が反映されるまでにしばらく時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。 ● 復元が完了すると、設定画面が表示されます。
設定を初期化	「初期化」を選択すると、設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻します。 ● 設定が反映されるまでにしばらく時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。

■ システムログ

本製品のシステムの履歴をログファイルとしてダウンロードできます。



項目	内容
表示するログ情報	ログファイルに記述したい内容にチェックを入れます。「表示」をクリックすると、ログ情報欄にチェックを入れた内容でログ情報が表示されます。
ログ情報	ファイル (logfile.log) に保存 ログ情報欄に表示されている内容でファイルをダウンロードします。
	消去 ログ情報欄の表示を消去します。

MEMO

ログ情報について

ルーターを再起動または初期化すると、ログ情報は削除されますのでご注意ください。

■通信パケット

本製品の通信状況を表示します。



インターフェイス

項目	内容
LAN 側有線	LAN 側の送受信パケットが表示されます。
インターネット側有線	インターネット側 (WAN 側) の送受信パケットが表示されます。
LAN 側無線 (802.11n/g/b)	2.4GHz 帯の送受信パケットが表示されます。
LAN 側無線 (802.11ac/n/a)	5GHz 帯の送受信パケットが表示されます。

項目	内容
現在の状態を表示	最新の情報に表示を更新します。

■ 接続確認

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認をおこなうことができます。

項目	内容
宛先アドレス	接続確認をしたい機器のアドレスを入力します。 「実行」を選択すると、接続確認をおこないます。
実行結果	ping の実行結果が表示されます。

こんなときは

インターネットにつながらない.....	114
無線LANがつながらない.....	115
端末からWPSで本製品に接続できない.....	116
WPS ボタンを使っても接続できない.....	116
PINコードで接続できない.....	116
無線のつながりがよくない.....	117
IPv6 IPoE 接続を利用する.....	121
かんたんセットアップ3を利用する場合.....	121
手動で設定する場合.....	125
IPv6 パススルー(ブリッジ)機能を有効にする...	128
ファームウェアを更新する.....	131
ファームウェア設定画面を開く.....	132
ダウンロードしたファイル(ローカルファイル)を 指定して更新する.....	134
サーバー上のファイルを使って更新する.....	137
決められた時間に自動的に更新する.....	139

インターネットにつながらない

以下のことを試してください。

① ルーターを再起動する。

本製品からACプラグをいったん抜いた後、再度差し直します。

② ルーターを初期化/再設定する。

本製品背面のリセットボタンを先の細いもので押し続けます（付属「製品情報」を参照）。

初期化後は、付属のかたんセットアップガイドを参照して再設定を行ってください。

また、必要に応じて初期化する前に設定を保存してください（→109ページ）。

③ 以下を確認する。

● TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認する。

〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

● DHCPサーバー機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当てる。

TCP/IPのプロパティにある<IPアドレス>タブで設定します。

● TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認する。

プロバイダーによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。

プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

● プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認する。

IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

無線LANがつかない

① 本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのアクセスコントロール設定は正しいですか？

セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、アクセスコントロールを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

(→アクセスコントロール設定 100 ページ)

② Wi-Fiのセキュリティ機能を設定後に無線LANがつかない。

- セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

- 各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

- 設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

端末からWPSで本製品に接続できない

WPS ボタンを使っても接続できない

WPS ボタンを使って無線LAN接続するときは、無線LAN子機がWPSに対応している必要があります。

無線LAN子機がWPSに対応していない場合は、手動での接続方法を試してみてください。

(→29ページ)

PINコードで接続できない

入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを確認して接続してください。

繰り返し接続に失敗するようであれば、手動での接続方法を試してみてください。

(→29ページ)

無線のつながりがよくない

ご近所などでたくさんの無線機器が使われている場合、電波干渉して通信が安定しない場合があります。

本製品と無線子機の間を接続している無線チャンネルを変更すると、安定する場合があります。

無線チャンネルは、以下の手順で変更してください。

- 1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。**

<http://192.168.2.1/>



ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

- 2 設定画面のHOME画面が表示されますので、現在のチャンネル数を確認した後、「Wi-Fi」を選択します。**

チャンネル数を
確認します



- 3 「Wi-Fi」画面が表示されますので、
「メインSSID」を選択します。



- 4 「メインSSID」画面が表示されますので、
チャンネルを変えたい帯域のタブを選び、「詳細設定」の「+」マークを選択します。



- 5** 詳細メニューが表示されますので、
「チャンネルの再選出」を選択、または「チャンネル」を任意の数字に設定(固定)します。

チャンネルの再選出をする場合

「チャンネルの再選出」を選択すると、本製品が再起動します。



チャンネルを任意の数字に設定する場合

任意の数字を選択して「適用」ボタンを押してください。本製品が再起動します。



MEMO

- チャンネルは、各帯域 (2.4GHz/5GHz) それぞれに設定することができます。
- 2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、隣接する無線機器と干渉しないよう、5チャンネル以上間隔をあけて設定してください。
 例) 1→6→11→13 など、5チャンネル以上を離して、いくつかの無線チャンネルを試し、最も無線接続が安定するチャンネルを見つけてご利用ください。

6 設定が反映されるまでしばらく待ちます。

7 設定が反映されると「Wi-Fi」画面に戻りますので、HOME画面に戻り、チャンネルが変更されていることを確認します。

チャンネルがここに
表示されます。



8 つながりが良くなっているか確認します。

チャンネルを変更しても、状況が改善されない場合があります。

その場合は、何度か **1**～**7** の手順を繰り返して試してください。

IPv6 IPoE 接続を利用する

本製品を利用中にインターネットの契約を変更され、「v6プラス^{※1}」や「transix^{※2}」のサービスを新たに使用される場合、本製品の設定を変更する必要があります。

※1 「v6プラス」は日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標です。

※2 「transix」はインターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。

かんたんセットアップ3を利用する場合

「v6プラス」「transix」どちらのサービスを利用しているか分からない場合は、かんたんセットアップ3を利用すると、自動的に判別することができます。

- 1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。**

<http://192.168.2.1/>



ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

- 2 設定画面のHOME画面が表示されますので、「かんたんセットアップ3」を選択します。**



3 「管理アカウント設定」画面が表示されますので、ログインIDとパスワードを入力し、「適用」を選択します。

本製品の管理画面(設定ユーティリティ)にログインするためのパスワードになります。

ご自身でログインIDとパスワードを決めて入力してください。

※ 設定画面にログインしたときに使用したものと同じ値も入力可能です。



4 「回線識別」画面が表示されますので、「自動設定」を選択します。



5 「ひかりTV設定」画面が表示されますので、ひかりTVをご利用の方は、「有効」に設定し、「次へ」を選択します。



「基本セットアップ完了」と表示されたら、設定の変更は完了です。

6 「詳細設定」を選択してHOME画面に戻ります。



7 IPv6 のアドレスが取得できていることを確認します。

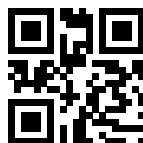


手動で設定する場合

「v6プラス」「transix」どちらのサービスを利用しているかわかる場合は、手動でも設定することができます。

- 1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

http://192.168.2.1/



ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

- 2 設定画面のHOME画面が表示されますので、「WAN&LAN」を選択します。



- 3** 「WAN&LAN」画面が表示されますので、
「WAN」を選択します。



- 4** 「WAN」画面が表示されますので、
「WANアクセスタイプ」を「v6プラス」または
「transix」に設定し、「適用」を選択します。



- 5** 設定が反映されると「WAN」画面に戻りますので、HOME 画面に戻り、IPv6 のアドレスが取得できていることを確認します。



IPv6 パススルー(ブリッジ) 機能を有効にする

IPv6サービスをご使用になる場合は、以下の手順で「IPv6 パススルー(ブリッジ)」を有効にする必要があります。

IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでかまいません。

(初期値：無効)

- 1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

<http://192.168.2.1/>

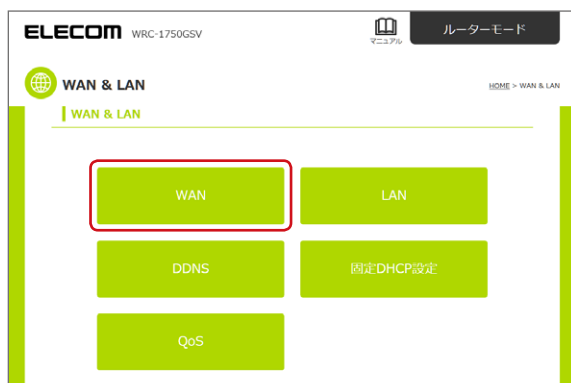


ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

- 2 設定画面のHOME画面が表示されますので、「WAN&LAN」を選択します。



- 3** 「WAN & LAN」画面が表示されますので、
「WAN」を選択します。



- 4** 「WAN」画面が表示されますので、
「IPv6 パススルーを有効にする」にチェックを
入れ、「適用」をクリックします。



- 5** 設定が反映されるまでしばらく待ちます。
- 6** 設定が反映されると「WAN」画面に戻りますので、IPv6 サービスが利用できるか確認します。

ファームウェアを更新する

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。

ファームウェアを更新（アップデート）することで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。

ファームウェアの更新（アップデート）の方法は3種類あります。

ローカルファイル指定	ダウンロードしたファームウェアファイルを指定してアップデートをおこないます。 → 134 ページ「ダウンロードしたファイル（ローカルファイル）を指定して更新する」
オンラインバージョンアップ（手動）	「更新実行」ボタンを選択すると、エレコム・ファームウェアサーバー上のファイルでアップデートがおこなわれます。 → 137 ページ「サーバー上のファイルを使って更新する」
オンラインバージョンアップ（自動） （初期値）	指定した日時に現在のファームウェアが最新かどうかチェックし、最新でない場合は、自動的にアップデートがおこなわれます。 → 139 ページ「決められた時間に自動的に更新する」

MEMO

通信環境が悪い場合は、「ローカルファイル指定」で更新することをおすすめします。

ファームウェア設定画面を開く

- 1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

<http://192.168.2.1/>



ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

- 2 設定画面のHOME画面が表示されますので、「その他設定」を選択します。



3 「その他設定」画面が表示されますので、「ファームウェア更新」を選択します。



「ファームウェア更新」画面が表示されます。



ダウンロードしたファイル(ローカルファイル)を指定して更新する

- 1 パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
- 2 Webブラウザを起動し、エレコムWebサイト「<http://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- 3 エレコムWebサイトのメニューから「ダウンロード」をクリックします。



- 4 「型番で検索」で型番を入力し、[検索]をクリックします。

例) WRC-1750GSV

The screenshot shows a search bar with the title '型番で検索'. Below the title is a text input field labeled '型番' (Model Number) and a '検索' (Search) button. Below the input field, there is a note: '※廃番製品は[こちら](#)からご確認ください。' (Please check here for discontinued products).

- 5 本製品向けにダウンロードが可能な内容が表示されますので、「[WRC-1750GSV用ファームウェア]」をクリックします。

6 画面の説明に従ってダウンロードを開始します。

- ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
- ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。

7 「ファームウェア更新」画面で、「ローカルファイル指定」にチェックを入れます。

「ファームウェア更新」画面の表示方法は、132ページをご参照ください。

The screenshot shows the 'Firmware Update' (ファームウェア更新) screen of an ELECOM WRC-1750GSV router. The page title is 'その他設定' (Other Settings) and the breadcrumb is 'HDMI > 基本設定 > ファームウェア更新'. The main heading is 'ファームウェア更新' (Firmware Update). Below it, a message states: '本製品のファームウェアを更新できます。' (You can update the firmware of this product). A table shows the current version: '現在のファームウェアバージョン' (Current Firmware Version) is '2.00'. To the right is a red button '更新ファイルの確認' (Check update file) and a note: '※現在のファームウェアが最新バージョンか確認します' (Check if the current firmware is the latest version). Under the heading 'ファームウェアの更新方法' (Firmware update method), there are three radio button options: 'ローカルファイル指定' (Local file selection), 'オンラインバージョンアップ (手動)' (Online version update (manual)), and 'オンラインバージョンアップ (自動)' (Online version update (automatic)). The 'ローカルファイル指定' option is selected and highlighted with a red box. Below these options, the '更新方法' (Update method) is set to 'オンラインバージョンアップ (自動)' (Online version update (automatic)). At the bottom, there is a '更新時刻' (Update time) section with a dropdown set to '自動設定' (Automatic setting) and a timestamp '水曜日 03:18'. At the very bottom are two buttons: '戻る' (Back) and '適用' (Apply).

「ローカルファイル指定」のメニューが表示されます。

- 8** 「ファイルを選択」を選択し、**6** でダウンロードしたファイルを選び、「適用」を選択します。



- 9** ファームウェアの更新が開始されるので、しばらく待ちます。

重要

ファームウェア更新中は、絶対に本体の電源を切らないでください。

更新中はPOWERランプが紫点滅しており、その間は無線・有線ともに通信ができません。また、電源を切りますと本製品が故障する場合があります。

更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

「現在のファームウェアバージョン」の数値が最新のバージョンであれば更新されています。

サーバー上のファイルを使って更新する

エレコム・ファームウェアサーバー上のファイルを使って更新します。

1 「ファームウェア更新」画面で、「オンラインバージョンアップ(手動)」にチェックを入れます。

「ファームウェア更新」画面の表示方法は、132ページをご参照ください。



オンラインバージョンアップ(手動)メニューが表示されます。

2 「更新実行」を選択します。



3 確認ダイアログボックスが表示されるので、「OK」を選択します。

ファームウェアの更新が開始されます。

重要

ファームウェア更新中は、絶対に本体の電源を切らないでください。

更新中はPOWERランプが紫点滅しており、その間は無線・有線ともに通信ができません。また、電源を切りますと本製品が故障する場合があります。

更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

決められた時間に自動的に更新する

エレコム・ファームウェアサーバーに最新のファイルがある場合は、週1回指定した時間に自動的にアップデートします。(ご購入時はこの設定になっています)

- 1 「ファームウェア更新」画面で、「オンラインバージョンアップ(自動)」にチェックを入れます。
「ファームウェア更新」画面の表示方法は、132ページをご参照ください。



オンラインバージョンアップ(自動)メニューが表示されます。

2 「更新時刻」を設定し、「適用」を選択します。



3 設定が反映されるまでしばらく待ちます。

設定が反映されると設定画面に戻ります。

重要

設定した更新時刻に新しいファームウェアが見つかった場合、自動的にファームウェア更新が開始されます。更新中は、絶対に本体の電源を切らないでください。

更新中はPOWERランプが紫点滅しており、その間は無線・有線ともに通信ができません。また、電源を切りますと本製品が故障する場合があります。

付録編

安全上のご注意	142
使用上のご注意	145
このマニュアルについて	146
無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意	147
動作環境	148
各部の名称とはたらき	149
本体	149
スタンド	149
設定初期値	152
パソコンの IP アドレスの確認方法	154
Windows 10 の場合	155
Windows 7 の場合	156
製品の保証について	158
製品の保証とサービス	158
サポートサービスについて	159
基本仕様	160
無線 LAN 部	160
WAN / 有線 LAN	161
ルーター、その他一般仕様	161

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
		丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。
		塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中は行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。



警告



本体から異臭や煙が出たときは、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、感電・火災の恐れがあります。

使用を中止して販売店にご相談ください。



分解はしないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



本体内部に異物を入れないでください。

金属を差し込んだり、水などの液体が入らないよう注意してください。感電、火災、故障の原因となります。万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



製品に同梱されているACアダプターまたは電源プラグは他の電子機器に使用しないでください。

仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



以下に該当するACアダプターや電源ケーブル、信号ケーブルを本製品に使わない。

・付属以外のもの

・弊社が指定する仕様、型番以外のもの

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



水気の多い場所での使用、濡れた手でのお取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



表示された電源で使用してください。

ACアダプターまたは電源プラグは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプターまたは電源コードはていねいに扱ってください。

ACアダプターまたは電源コードは破損しないよう十分にご注意ください。

コード部分を持ってコンセントを抜き差ししたり、コードの上に物を載せると、被覆が破れて感電・火災の原因となります。



ACアダプターまたは電源コードは、定格容量を超えてタコ足配線したり、何本もの延長したテーブルタップに接続して使用しないでください。

火災の原因となります。なるべくコンセントに直接接続してください。



ACアダプターまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



心臓ペースメーカーを使用している人の近く、または医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムを使用しない。

心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

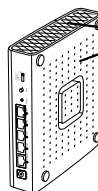


注意



通気口はふさがないでください。

過熱による火災・故障の原因となります。



通気口

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

■ 2.4GHz帯使用の無線機器について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

■ 5GHz帯使用の無線機器について

電波法により、W52、W53は屋外での使用が禁止されています。

36～64chは、屋外で使用しないでください。

動作環境

ルーター機能については、TCP/IP プロトコルを利用できる OS であれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。

また、Web ベースの管理画面(設定ユーティリティ)を採用しています。本製品の設定には Web ブラウザーより設定ができます。

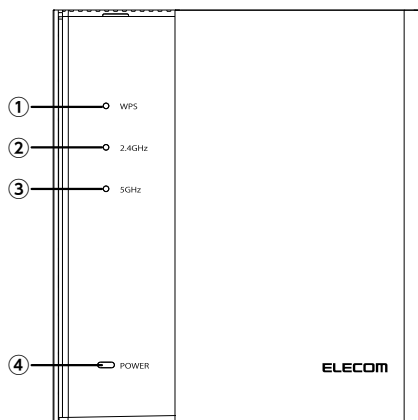
対応機種 および OS	Windows 10/10S/8.1/7 (SP1 以降) /Vista (SP1 以降)、 macOS 10.13/10.12、 Mac OS X 10.11/10.10/10.9/10.8/10.7、 Android 4.0 以降、 iOS 7.0 以降
Web ブラウザー	Internet Explorer 5.5 以降、Safari 6.0.3 以降

各部の名称とはたらき

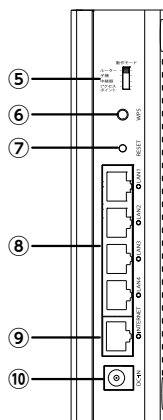
本体

正面

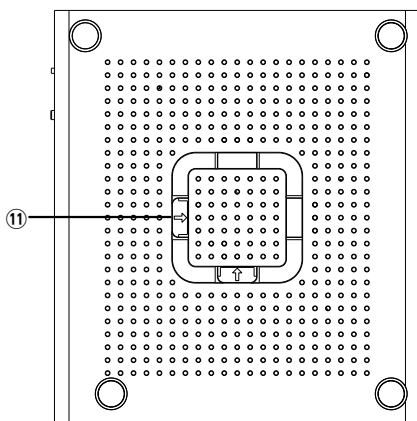
※ スライドパネルを外した状態です。



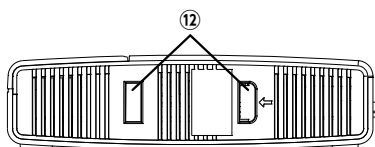
背面



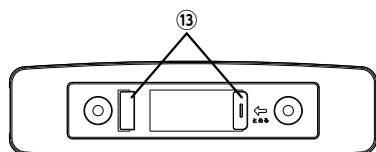
底面



裏面



スタンド



① WPS ランプ	赤点滅: WPS 設定ボタンを押して WPS 機能を実行している状態です。 約 2 分間点滅します。 消灯: WPS 機能を実行していない状態です。
② 2.4GHz ランプ	白点灯: 無線 LAN が有効な状態です。
③ 5GHz ランプ	消灯: 無線 LAN が無効な状態です。 白点滅: 無線 LAN が通信中です。
④ POWER ランプ	紫点滅: 本製品が起動中であるか、または初期化を行っています。絶対に電源を切らないでください。 黄点灯: 中継器モードで動作中です。 青点灯: アクセスポイントモードで動作中です。 緑点灯: ルーターモードで動作中です。 白点灯: 子機モードで動作中です。 消灯: 本製品の電源が切れた状態です。
⑤ 動作モード切替スイッチ	本製品の動作モードを選択するスイッチです。ルーターモード / アクセスポイントモード / 中継器モード / 子機モードから選択できます。 初期値は「ルーターモード」です。 動作モードを切り替えるときは、必ず本製品の電源を切った状態でスイッチを変更してください。
⑥ WPS ボタン	WPS 機能搭載の無線子機（無線 LAN アダプターなど）と接続するときに使用します。 このボタンを 2 ～ 3 秒長押しすると、WPS ランプが赤点滅し、WPS 機能が実行状態になります。
⑦ RESET ボタン	このボタンを押し続けると POWER ランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。POWER ランプが点滅を始めるまで約 7 ～ 10 秒かかります。 POWER ランプ点滅中は、電源を絶対に切らないでください。
⑧ LAN ポート / LAN ランプ 1 ～ 4	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。各ポートの横には、LED ランプが付いています。 白点灯: 有線 LAN 接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 消灯: ケーブルが未接続の状態です 白点滅: データ転送中です。

⑨ INTERNET ポート/INTERNET ランプ	各種モデム (ONU、CTU、HGW など) の WAN (インターネット) 側機器からのケーブルを接続します。ポートの横には、LED ランプがついています。 白点灯: WAN 側機器とのリンクが確立しています。 消灯: ケーブルが未接続の状態です 白点滅: データ転送中です。
⑩ DC IN (電源ジャック)	本製品に付属の AC アダプターを接続します。本製品に付属以外の AC アダプターを接続しないようにしてください。また、本製品付属の AC アダプターは他の製品に使用しないでください。
⑪ スタンド装着部 (裏面)	ヨコ置き、または壁掛け時にスタンドを装着します。
⑫ スタンド装着部 (底面)	タテ置き時にスタンドを装着します。
⑬ スタンド	本製品は、付属のスタンドを使用することで、タテ置き、ヨコ置き、壁掛けのいずれにも対応します。タテ置きでの利用方法は『かんたんセットアップガイド「設置方法」』をお読みください。ヨコ置き、壁掛けでの利用方法は別紙の「設置説明書 (pdf)」をお読みください。

設定初期値

機能名		出荷時設定	設定値
友だち Wi-Fi™		OFF (無効)	SSID : e-tomo-xxxxxx (英数字 6 ケタ) 認証方式 : WPA Pre-Shared Key キー : パスフレーズ 暗号化キー : 管理画面 (設定ユーティリティ) で確認できます。
こどもネット タイマー	タイマー設定	ON (有効)	OFF (無効) / ON (有効)
	スケジュール設定	ON (有効)	OFF (無効) / ON (有効)
Wi-Fi			
2.4GHz メイン SSID	SSID	有効	elecom2g-xxxxxx (英数字 6 ケタ)
	認証方式	WPA Pre-Shared Key	WPA Pre-Shared Key / WEP / なし
	暗号化	WPA2 AES	WPA2 AES / WPA TKIP / WPA Mixed
	キーの種類	パスフレーズ	パスフレーズ / HEX
	無線チャンネル	Auto	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12 / 13ch
	チャンネル幅	Auto	20MHz / 40MHz
	ステルス機能	無効	有効 / 無効
	電波出力	強	弱 / 中 / 強
	ひかり TV モード	無効	有効 / 無効
5GHz メイン SSID	SSID	有効	elecom5g-xxxxxx (英数字 6 ケタ)
	認証方式	WPA Pre-Shared Key	WPA Pre-Shared Key / WEP / なし
	暗号化	WPA2 AES	WPA2 AES / WPA TKIP / WPA Mixed
	キーの種類	パスフレーズ	パスフレーズ / HEX
	無線チャンネル	Auto	36 / 40 / 44 / 48 / 52 / 56 / 60 / 64 / 100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140
	チャンネル幅	Auto	20MHz / 40MHz / 80MHz
	ステルス機能	無効	有効 / 無効
	電波出力	強	低 / 中 / 強
	ひかり TV モード	無効	有効 / 無効

機能名		出荷時設定	設定値
WAN & LAN			
WAN	WAN アクセスタイプ	DHCP	DHCP / PPPoE / 固定 IP / v6 プラス ^{※1} / transix ^{※2}
	MTU	1500 バイト (1400 ~ 1500 バイト)	DHCP : 1400 ~ 1500 バイト PPPoE : 1360 ~ 1454 バイト 固定 IP : 1400 ~ 1500 バイト
	UPnP	無効	有効 / 無効
	WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	無効	有効 / 無効
	IPv6 パススルー	無効	有効 / 無効
	HW NAT	有効	有効 / 無効
LAN	IP アドレス	192.168.2.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	DHCP 範囲	192.168.2.100 ~ 200	
	DHCP リース時間	48 (時間)	1 ~ 168 時間
DDNS	DDNS	無効	有効 / 無効
固定 DHCP	固定 DHCP	無効	有効 (最大 20 台まで) / 無効
QoS	QoS	無効	有効 / 無効
	ダウンロード帯域幅	30Mbps	1 ~ 30Mbps
	アップロード帯域幅	30Mbps	1 ~ 30Mbps
	通信方向	ダウンロード	ダウンロード / アップロード / 両方
	上限 / 下限	下限	上限 / 下限
	帯域幅	1Mbps	1 / 2 / 4 / 8 / 12 / 20 / 30Mbps
セキュリティ			
アクセスコントロール		無効	有効 (最大 20 台まで) / 無効
ポートフォワーディング		無効	有効 (最大 20 台まで) / 無効
DMZ		無効	有効 / 無効

※1 「v6 プラス」は日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標です。

※2 「transix」はインターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。

パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にアクセスできない場合に、本製品の管理画面（設定ユーティリティ）に接続するパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。

ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線LAN子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

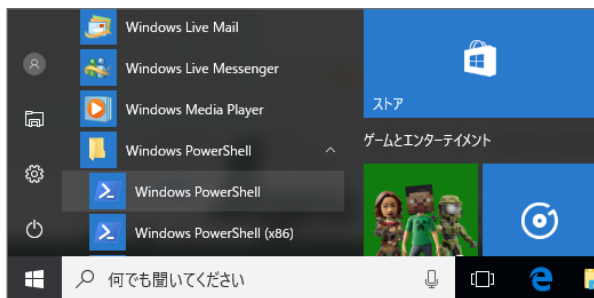
本製品から正常にIPアドレスが割り当てられているとき

本製品に接続されているパソコンのネットワーク設定は以下になっています。

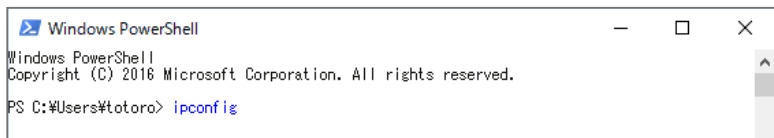
IP アドレス	192.168.2.xxx 「xxx」は任意の数字(初期値:100 ~ 200 のいずれか)です。
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.1

Windows 10の場合

- 1 [スタート]→ [Windows Powershell] をクリックします。



- 2 「Windows Powershell」画面が表示されますので、「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



MEMO

- 入力する文字は半角英数字です。
- 「"xxx" は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

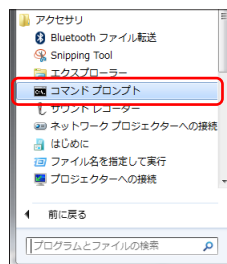
ネットワーク接続情報が表示されます。

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:		
接続固有の DNS サフィックス	Realtek	
リンクローカル IPv6 アドレス	fe80::b98c:a23f:e809:d0a7%18	
IPv4 アドレス	192.168.2.103	有線 LAN
サブネット マスク	255.255.255.0	
デフォルト ゲートウェイ	192.168.2.1	
Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続:		
接続固有の DNS サフィックス	Realtek	
リンクローカル IPv6 アドレス	fe80::102:f940:c919:58b3%17	
IPv4 アドレス	192.168.2.104	無線 LAN
サブネット マスク	255.255.255.0	
デフォルト ゲートウェイ	192.168.2.1	

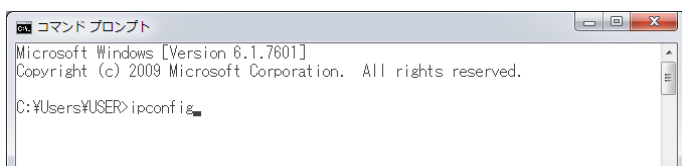
有線 LAN 接続は「イーサネット アダプターローカル エリア接続」、無線 LAN 接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

Windows 7 の場合

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンド プロンプト」の順にクリックします。



- 2 「コマンドプロンプト」画面が表示されますので、「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。



MEMO

- 入力する文字は半角英数字です。
- 「"xxx" は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:	
接続固有の DNS サフィックス	Realtek
リンクローカル IPv6 アドレス	fe80::b96c:a23f:e809:d0a7%18
<u>IPv4 アドレス</u>	<u>192.168.2.103</u>
サブネット マスク	255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	192.168.2.1
Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続:	
接続固有の DNS サフィックス	Realtek
リンクローカル IPv6 アドレス	fe80::102:f940:c919:58b3%17
<u>IPv4 アドレス</u>	<u>192.168.2.104</u>
サブネット マスク	255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	192.168.2.1

有線LAN接続は「イーサネット アダプターローカル エリア接続」、無線LAN接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

● 保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、製品情報に記載の保証規定をご確認ください。

● その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

豊富なQ&Aやチャットサポート、画面で見る設定手順、マニュアルなどをWebでご案内しています。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



<http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/033.html>

エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL:0570-050-060

受付時間：10:00 ～ 19:00(年中無休)

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ インターネットに関するプロバイダー契約の書類
- ・ ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

基本仕様

無線LAN部

機種	WRC-1750GSV
規格	IEEE802.11ac (5G 帯) IEEE802.11n (2.4G/5G 帯) IEEE802.11g (2.4G 帯) IEEE802.11b (2.4G 帯) IEEE802.11a (5G 帯)
周波数帯域	2.4GHz 帯 : 2,400 ~ 2,484MHz 5.2GHz 帯 (W52) : 5,150 ~ 5,250MHz 5.3GHz 帯 (W53) : 5,250 ~ 5,350MHz 5.6GHz 帯 (W56) : 5,470 ~ 5,725MHz
チャンネル	2.4GHz 帯 : 1 ~ 13ch 5GHz 帯 (W52/W53/W56) : 36/40/44/48/52/56/60/ 64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch
伝送方式	IEEE802.11ac : MIMO-OFDM IEEE802.11n : MIMO-OFDM IEEE802.11g : OFDM IEEE802.11b : DS-SS IEEE802.11a : OFDM
データ転送速度 (無線)	IEEE802.11ac : 最大 1300Mbps IEEE802.11n : 最大 450Mbps IEEE802.11g : 最大 54Mbps IEEE802.11b : 最大 11Mbps IEEE802.11a : 最大 54Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー
アンテナ方式 (5GHz 帯)	3 本 (送受信×3)
アンテナ方式 (2.4GHz 帯)	3 本 (送受信×3)
セキュリティー	WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (TKIP)、WEP (64bit/128bit)、 SSID ステルス設定 セパレーター機能: プライバシーセパレーター / SSID セパレー ター対応 (ゲスト SSID に対して機能)
設定方式	WPS 対応・かんたんセットアップ 3
ビームフォーミング	対応 (常時有効)

WAN / 有線 LAN

機種	WRC-1750GSV
規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T)
データ伝送速度 (有線)	INTERNET: 1000Mbps/100Mbps/10Mbps LAN: 1000Mbps/100Mbps/10Mbps
コネクタ	INTERNET: RJ-45 × 1 ポート、 LAN: RJ-45 × 4 ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルーター、その他一般仕様

機種	WRC-1750GSV
LAN 側 IP アドレス	192.168.2.1
ルーティング 対応プロトコル	TCP/IP (IPv4)
インターネット (WAN) 接続方式	PPPoE 認証接続 (1 セッション)、IP アドレス自動取得接続、 IP アドレス固定接続、IPv6 IPoE (IPv4 over IPv6) 接続
LAN 接続方式設定	IP アドレス自動取得接続、IP アドレス固定接続
セキュリティ	アクセスコントロール (禁止のみ)
ローカルサーバー 機能	ポートフォワーディング、DMZ
ダイナミック DNS (DDNS)	SkyLinkDDNS (エレコム提供 DDNS サービス)、 DynDNS
動作環境	温度: 0 ~ 40℃、湿度: 10 ~ 85% (ただし結露なきこと)
消費電力 (最大)	約 11.3W
外形寸法	約 141.0 × 約 36.5 × 160.0mm (本体のみ)
質量 (本体のみ)	約 370g (本体のみ)



無線LANブロードバンドルーター
WRC-1750GSV ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社